

## 調査結果の分析

---



# 乳幼児調査

## 1. 回答者の属性

### (1) 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号1つに をつけてください。

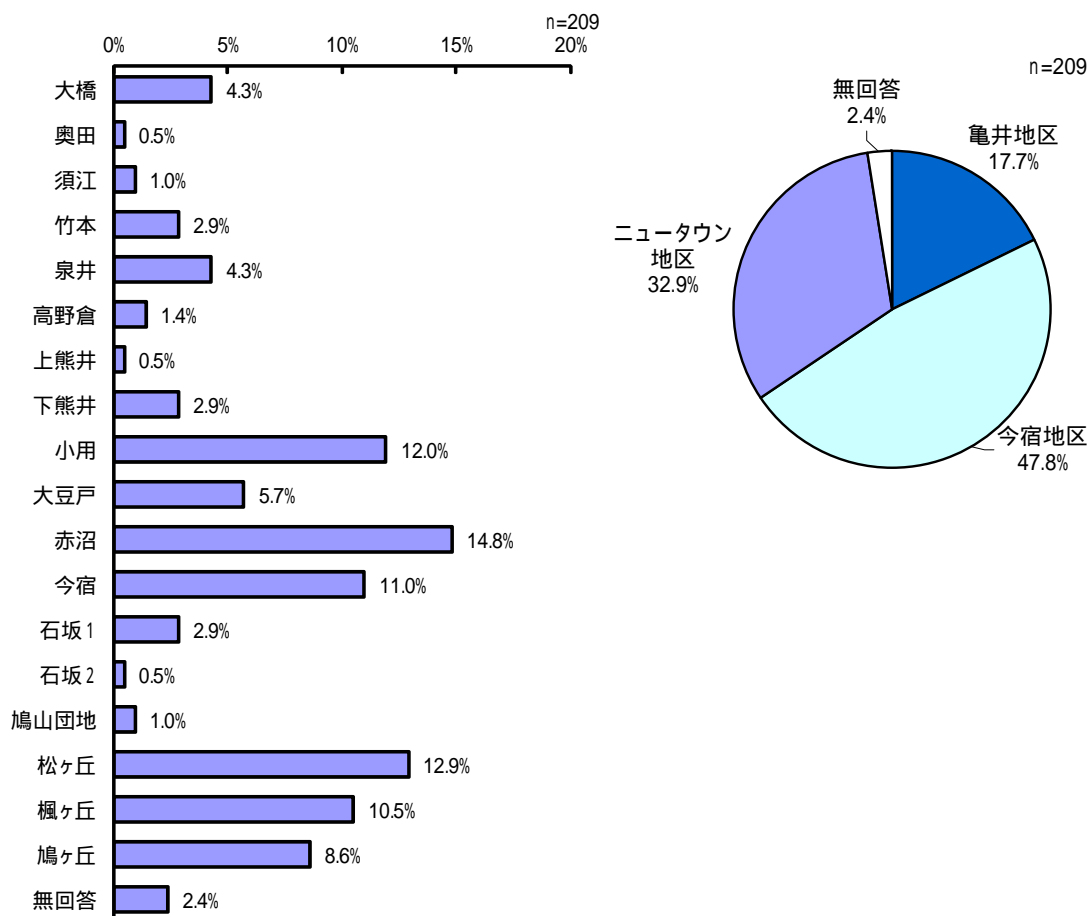
住まいの地域については、18地区を下記のようにまとめた。

亀井地区... 大橋、 奥田、 須江、 竹本、 泉井、 高野倉、 上熊井、 下熊井

今宿地区... 小用、 大豆戸、 赤沼、 今宿、 石坂1、 石坂2、 鳩山団地

ニュータウン地区... 松ヶ丘、 楓ヶ丘、 鳩ヶ丘

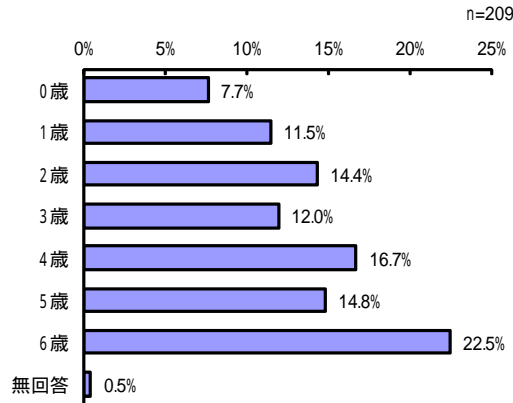
最も多いのは、今宿地区の47.8%、次いでニュータウン地区の32.9%、亀井地区の17.7%である。



(2) 児童年齢

**問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。( )内に数字でご記入ください。**

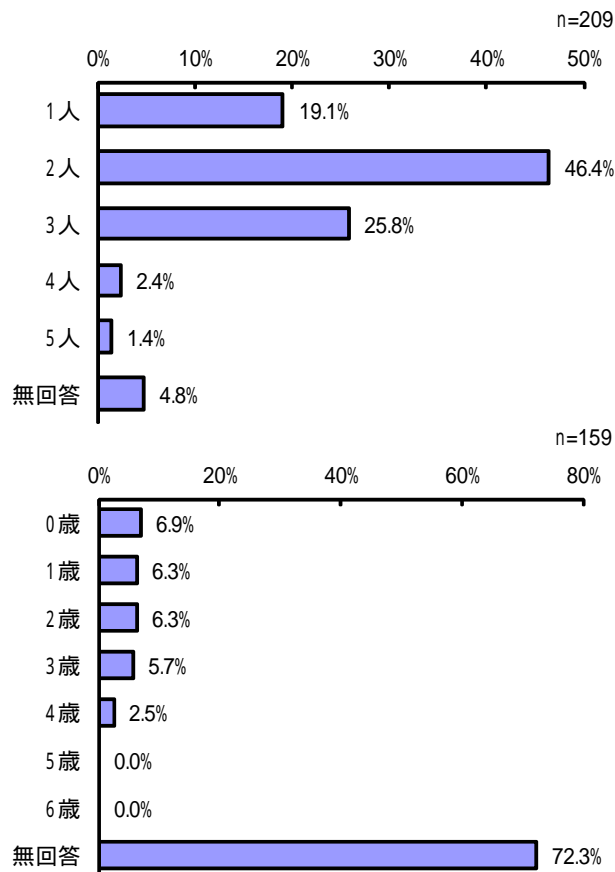
6歳が最も多く22.5%、次いで4歳の16.7%、5歳の14.8%、2歳の14.4%などである。



(3) きょうだいの人数と末子の年齢

**問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を( )内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月をご記入ください。**

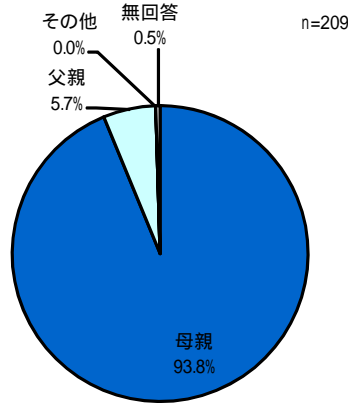
きょうだい数は「2人」が46.4%、「3人」が25.8%、「1人」の19.1%が主なところである。また、2人以上で乳幼児がいない人が72.3%であり、「0歳」「1歳」「2歳」いずれも6.0%台である。



( 4 ) 回答者

**問4** この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。

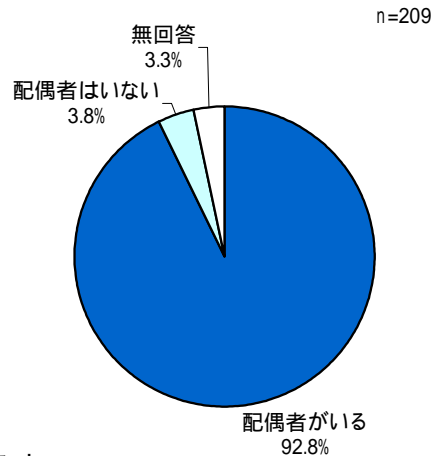
回答者は、「母親」が93.8%である。



( 5 ) 回答者の配偶関係

**問5** この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに をつけてください。(問4で「3.その他」と回答した方は回答不要です)

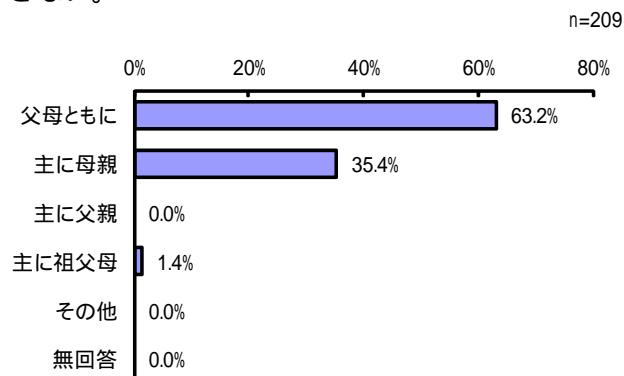
回答者に「配偶者がいる」が92.8%である。



( 6 ) 子育てを主に行っている人

**問6** 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに をつけてください。

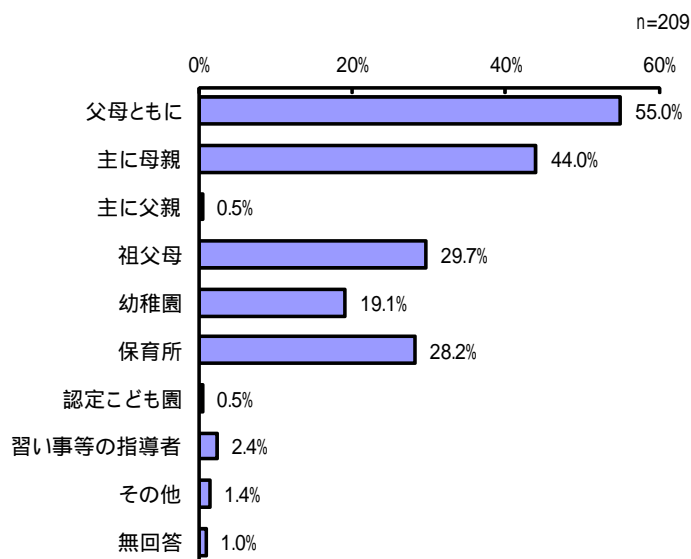
子育てを主に行っているのは、「父母ともに」が63.2%、「主に母親」が35.4%であり、「主に祖父母」は1.4%にすぎない。



## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

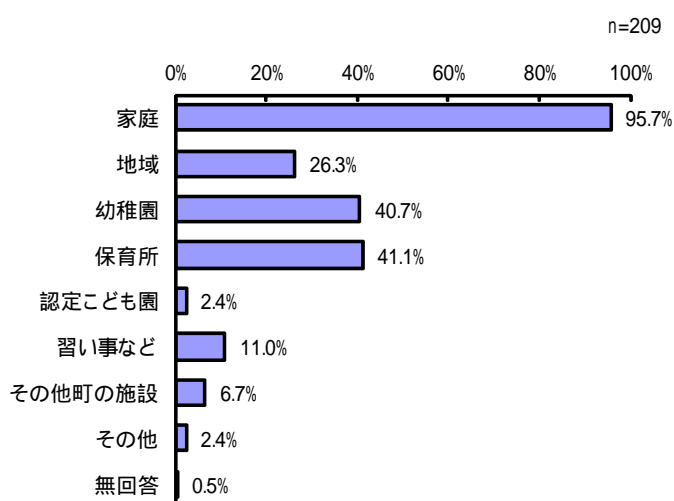
**問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに をつけてください。**

子育てに日常的に関わっているのは、「父母ともに」55.0%、「主に母親」44.0%、「祖父母」29.7%と、家庭や家族が上位であり、次いで「保育所」28.2%、「幼稚園」19.1%である。



**問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに をつけてください。**

子育てに影響すると思う環境は、「家庭」95.7%が最も多く、次いで差があって「保育所」41.1%、「幼稚園」40.7%、「地域」26.3%などである。

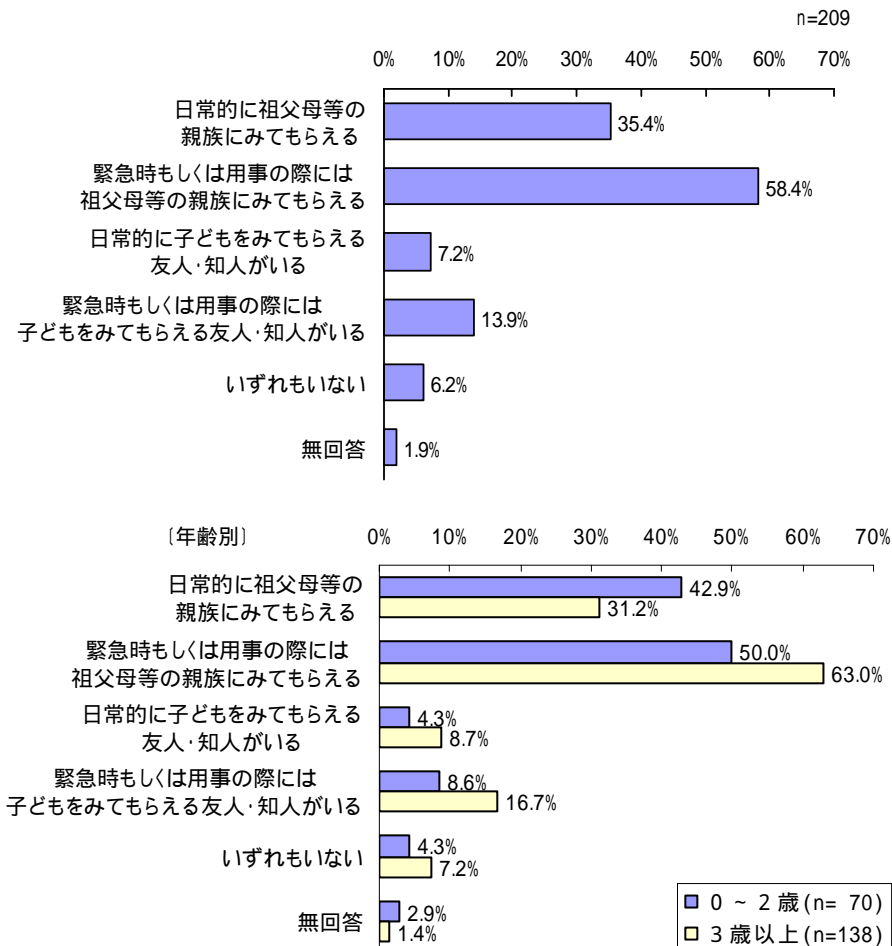


**問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてにつけてください。**

子どもをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」58.4%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」35.4%と親族をあげる人が多い。

友人・知人については、「緊急時もしくは用事の際にはみてもらえる友人・知人がいる」は13.9%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は7.2%にとどまる。また、「いずれもない」は6.2%である。

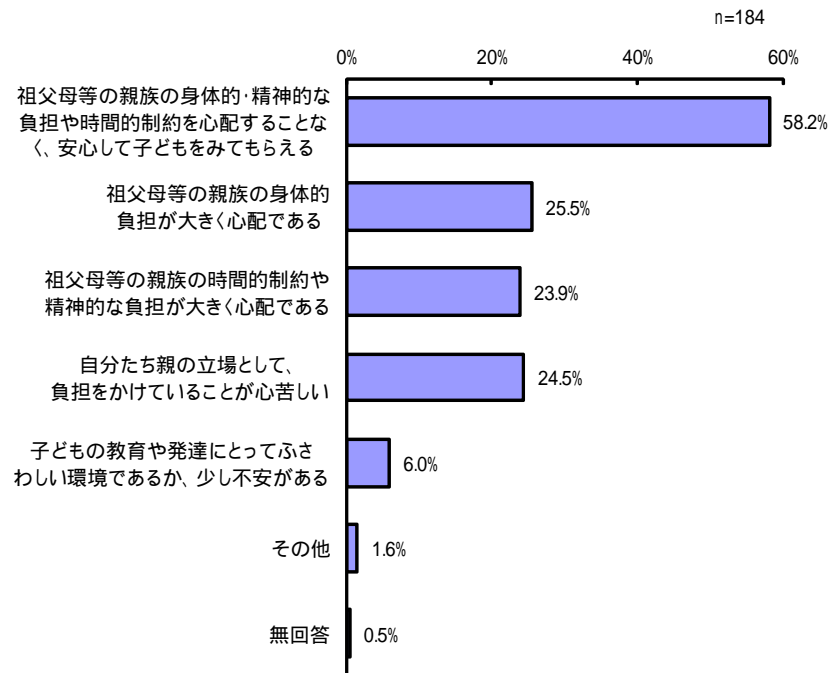
子どもの年齢でみると、同じ親族でも「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」については0～2歳42.9%、3歳以上31.2%に対し、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は0～2歳50.0%、3歳以上63.0%である。



問9で「1.」または「2.」に をつけた方にうかがいます。

**問9-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。**

親族に子どもをみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が58.2%と6割近い。以下、あまり差がなく「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」25.5%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」24.5%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」23.9%があげられている。

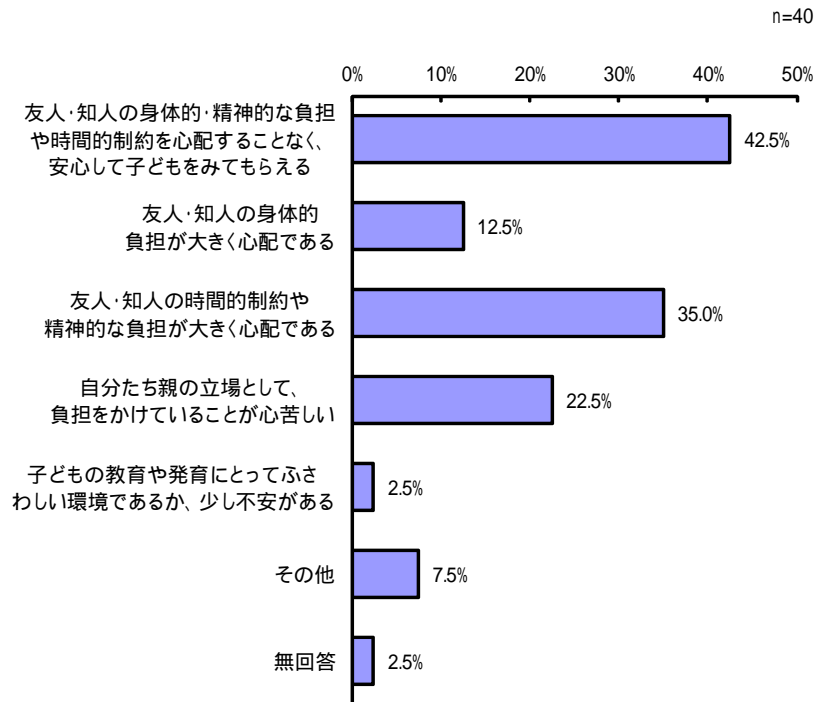




問9で「3.」または「4.」に をつけた方にうかがいます。

問9-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

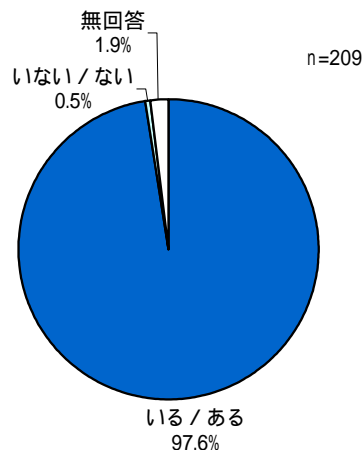
友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」42.5%、次いで「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」35.0%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」22.5%などである。



すべての方にうかがいます。

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号1つに をつけてください。

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場が「いる／ある」は97.6%と大半である。

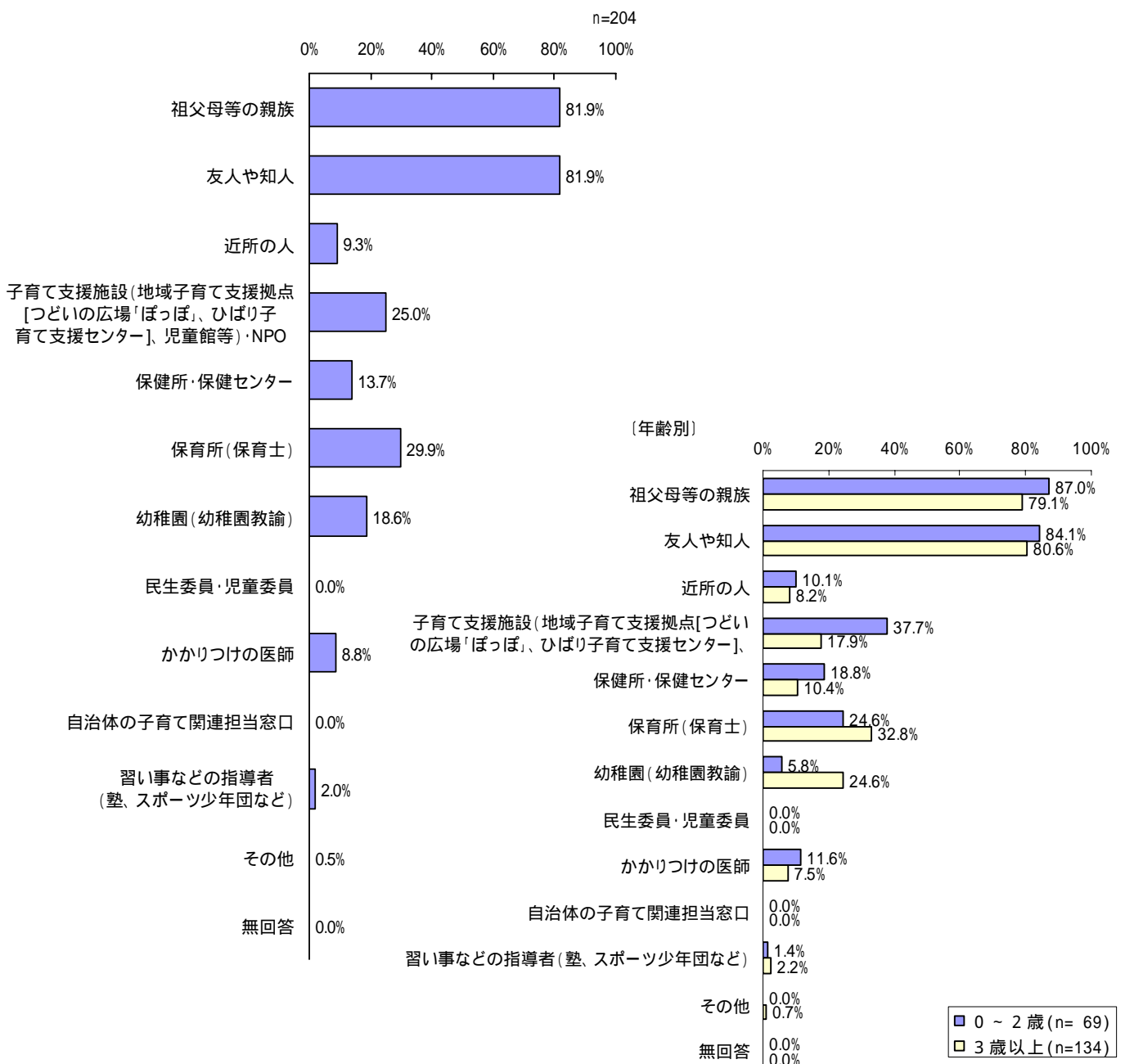


問 10 で「1. いる / ある」に をつけた方にうかがいます。

問 10-1 問 10 で「1. いる / ある」に をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてにつけてください。

気軽に相談できる先は「祖父母等の親族」と「友人や知人」いずれも 81.9%と最も多い。次いで、大きく差があり「保育所」29.9%、「子育て支援施設」25.0%、「幼稚園」18.6%、「保健所・保健センター」13.7%と続く。

子どもの年齢でみると「祖父母等の親族」「友人や知人」いずれも 0～2歳が3歳以上をやや上回る。また、「子育て支援施設」や「保健所・保健センター」なども0～2歳が3歳以上を上回るが、「保育所」「幼稚園」になると逆に3歳以上が0～2歳を上回る。



すべての方にうかがいます。

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

主な意見の抜粋

〔一時預かりサービスの充実〕

- ・園児や小学生が使用できる児童館や兄弟の授業参観の時などに預けられる（有料でも可）場所があると良い。
- ・私の仕事は急に休めないのので、緊急時預かってもらえる人、場所（有料でもいいので）
- ・ファミリーサポートのシステムを取り入れて欲しい。
- ・ゆりかご保育の様な何歳児からちょっと数時間預けられる保育施設やベビーシッターの様なサービスが増えて欲しい。

〔参加や交流のきっかけづくり〕

- ・イベントやママ同士が知り合える場所への誘い。最初は不安で中々行けないものです。子育ての大変さや愚痴はママ同士が一番理解しあえます。家族に話すよりも先生に話すよりもママ友と話す方がずっと子育てを楽に楽しいものに変えてくれます。なので、一人でも多くのママ友に知り合うためにそのような場への誘いが必要です。そして、内向的なママさんには、最初に付き添う事も大切です。
- ・いつでもいける場所、児童館みたいな場所。年齢に関係なく、「ぼっぼ」は0歳～2歳と限られていて、兄弟同士で来ている人が多くてなかなか行きづらい。

〔経済的支援〕

- ・日曜日に子どもを見てくれる保育園が有料でなくなると利用しやすいと思います。
- ・季節ごとのワクチン（インフル等）何故、県によって金額が異なるのでしょうか？以前宇都宮に住んでいた時は、子供は無料で接種できました。無料もしくは、子どもも1回でまとめて接種や、金額も考えてもらえると助かります。

〔気軽な相談・交流の場〕

- ・既に色々サポートはしてもらっていますが、やはり交流の場を増やして共感しながら、色々話ができるとストレスが軽くなります。
- ・鳩山町全体で子どもが少なく、子どもを持っている親同士の交流が少ないので、交流が行えるような場がもっとあるといいと思います。
- ・役場 HP 上で保健センターの人とメールで相談できるシステム
- ・幼児が気軽に参加できる遊び場や支援センターやイベントが増えるといい。

〔その他〕

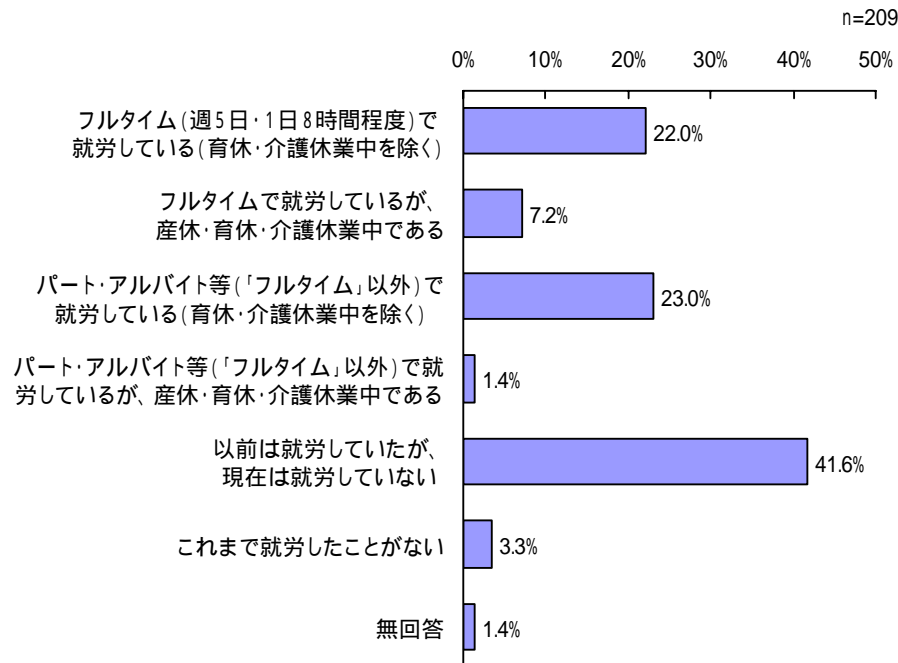
- ・鳩山町内でピアノや習字、そろばん等習い事教室がどこにあるとか、一覧の表などがあると良いなと思います
- ・町の施設などに子供、乳幼児用のお手洗いがもっとあると便利で、外出するのが心配なくできる。

### 3. 保護者の就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。  
 (1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号 1 つに をつけてください。

母親の就労状況は「以前は就労していたが、現在は就労していない」41.6%、「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労している」23.0%、「フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労している」22.0%、「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」7.2%などである。『フルタイム』就労は 29.2%、約3割と、『パート・アルバイト』就労 24.4%を上回る。

子どもの年齢で見ると『フルタイム』就労は0～2歳は28.6%、3歳以上は29.7%と、ほとんど同じであるが、『パート・アルバイト』就労では0～2歳15.7%、3歳以上28.3%と3歳以上に多い。



(年齢別)	フルタイム就労、産育育休介護休業中ではない	フルタイム就労、産育育休介護休業中	パート・アルバイト就労、産育育休介護休業中ではない	パート・アルバイト就労、産育育休介護休業中	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
0～2歳(n=70)	15.7	12.9	11.4	4.3	51.4	1.4	2.9
3歳以上(n=138)	25.4	4.3	28.3	0.0	37.0	4.3	0.7

(1)で「1」から「4」(就労している)のいずれかに をつけた方にうかがいます。

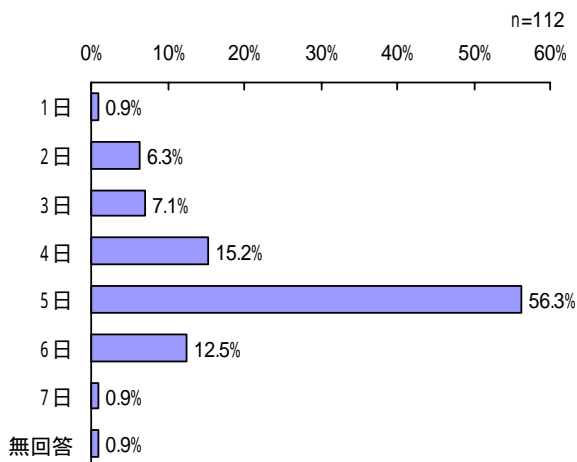
(1)-1 現在の就労日数、就労時間などの就労条件をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず (例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。(( )内に数字でご記入ください。)

1週あたりの就労日数は「5日」が最も多く、次いで「4日」「6日」などである。1日あたりの就労時間は「8時間」、次いで「4時間」「6時間」などである。

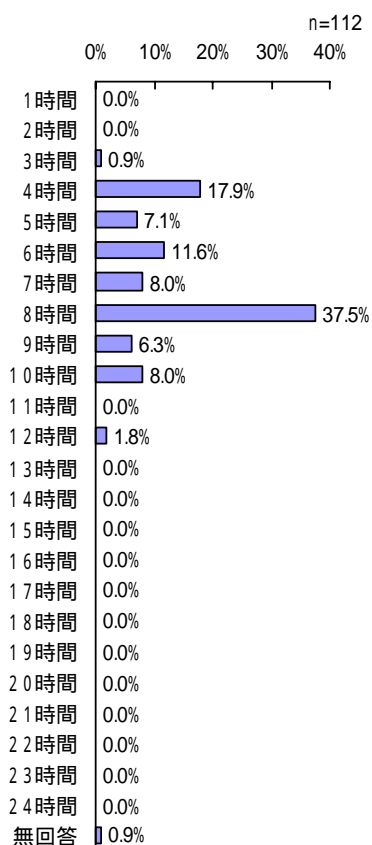
家を出る時刻は、「8時」が41.1%、次いで「9時」が27.7%、「7時」14.3%などである。

帰宅時刻は「18時」が28.6%、「19時」が17.9%、「17時」が16.1%などである。

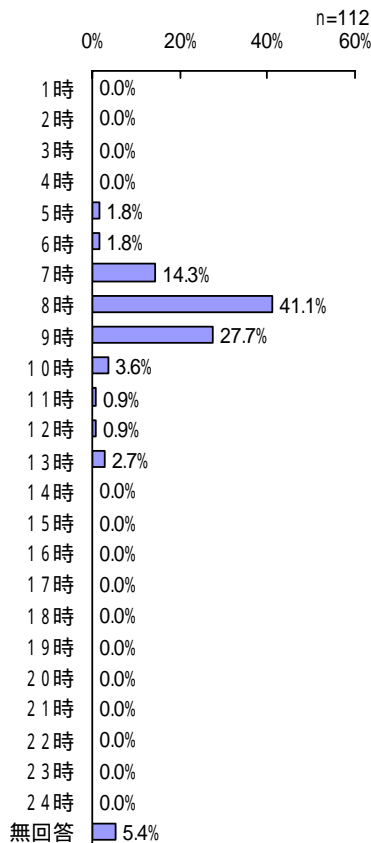
### 1週あたり就労日数



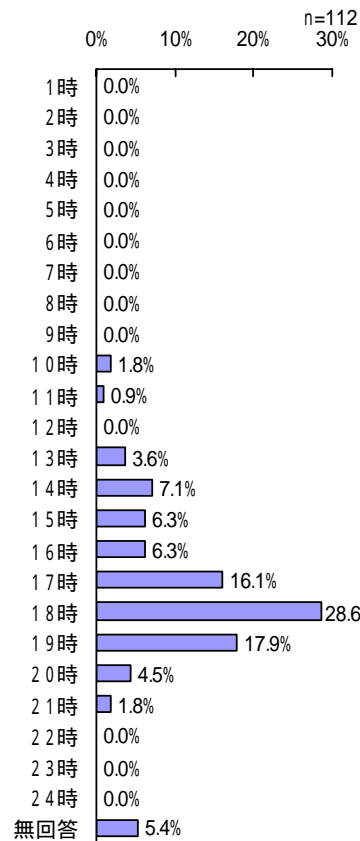
### 1日あたり就労時間



### 家を出る時刻

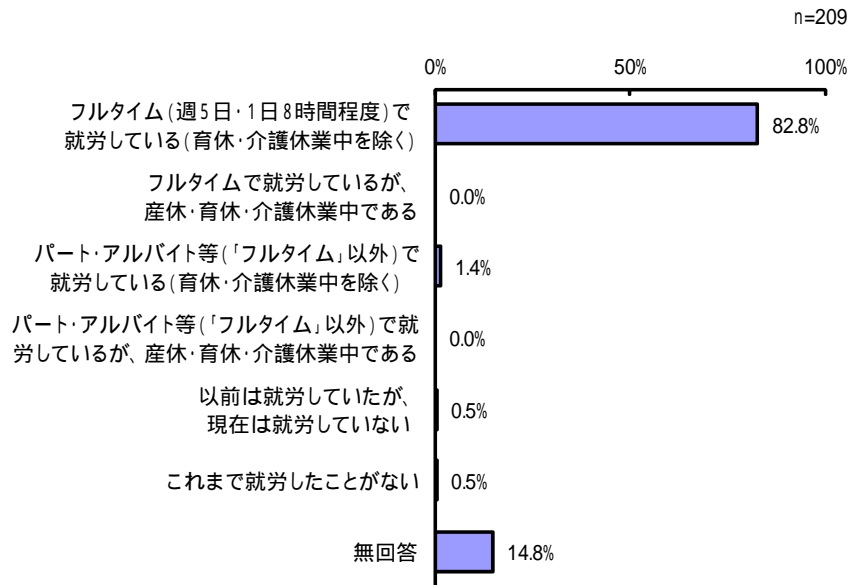


### 帰宅時刻



**(2)父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに をつけてください。**

父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」が82.8%である。



**(2)で「1」から「4」(就労している)のいずれかに をつけた方にうかがいます。**

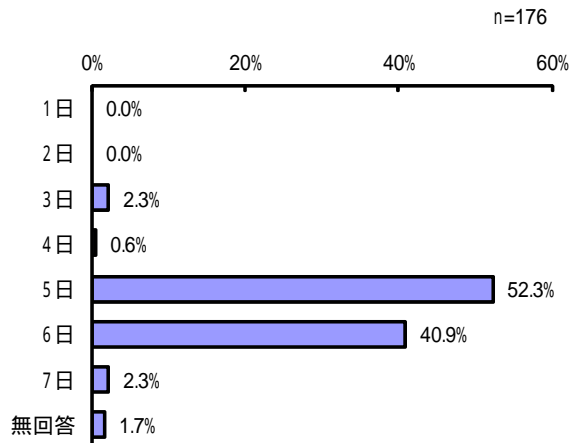
**(2)-1 現在の就労日数、就労時間などの就労条件をお答えください。日数や時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時刻は、必ず (例)8時~18時のように、24時間制でお答えください。(( )内に数字でご記入ください。)**

1週あたりの就労日数は「5日」「6日」の順である。1日あたりの就労時間は「8時間」が最も多く、次いで「10時間」「9時間」「12時間」などである。

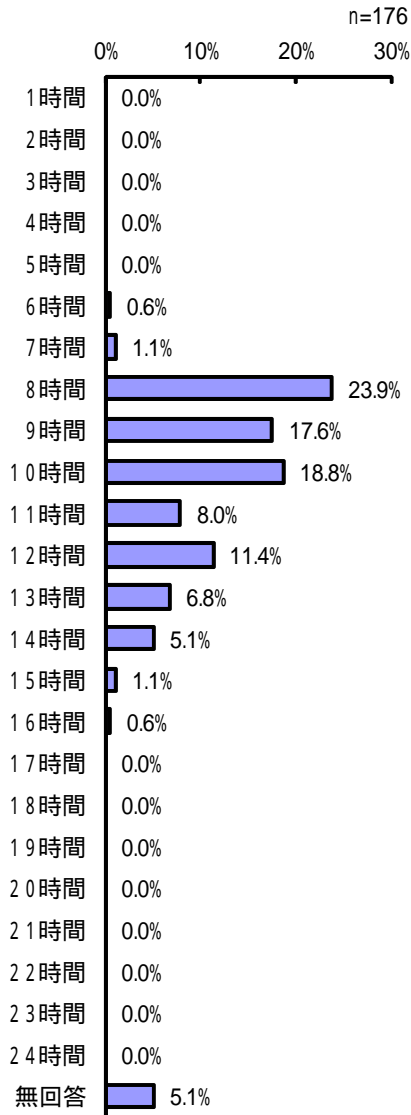
家を出る時刻は、「7時」「8時」「6時」の順である。

帰宅時刻は「18時」「19時」及び「21時」「20時」などである。

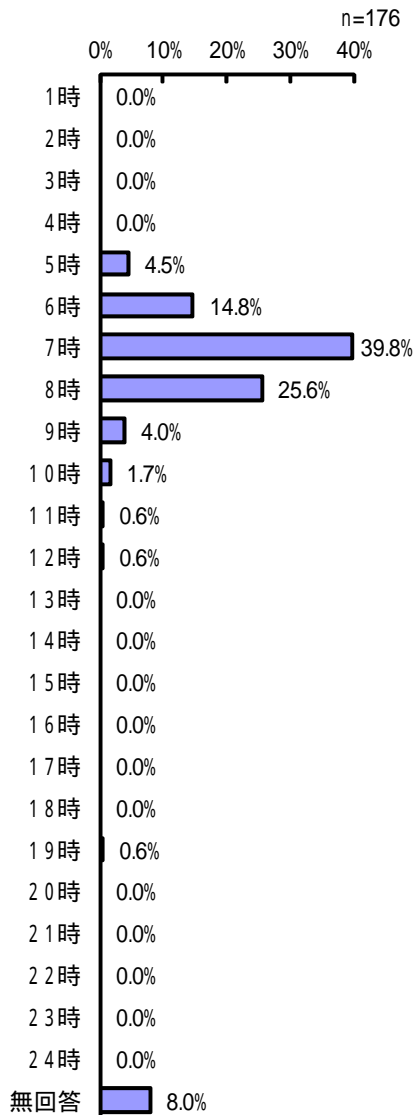
1週あたり就労日数



1日あたり就労時間



家を出る時刻



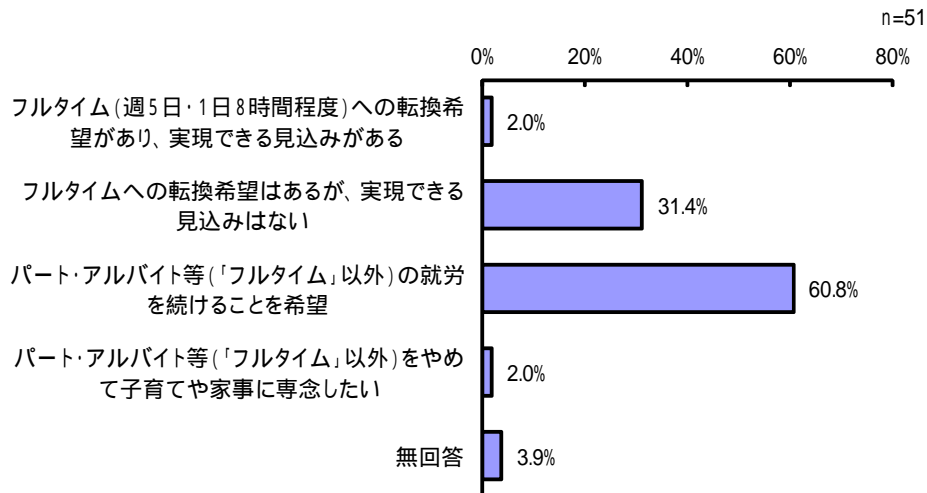
帰宅時刻



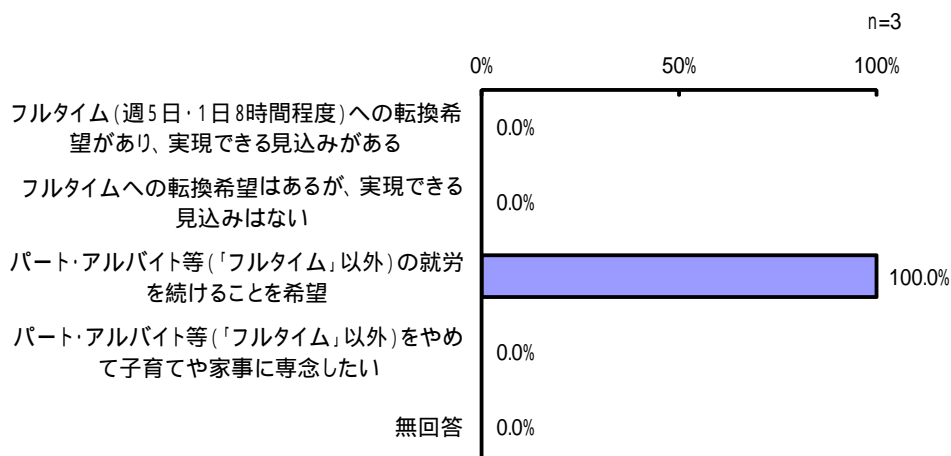
問 12 の ( 1 ) または ( 2 ) で「3.」か「4.」(パート・アルバイト等で就労している)に  
をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

問 13 フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。

母親のフルタイムへの転換希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」  
60.8%と約 6 割、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 31.4%  
である。



父親は回答者数が 3 人と少ないが、いずれも「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」と回答している。



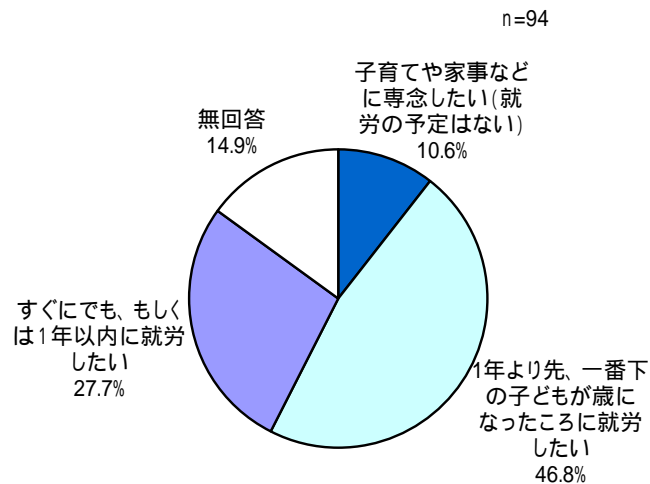


問 12 の ( 1 ) または ( 2 ) で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に つけた方に向かってください。該当しない方は、問 15 へお進みください。

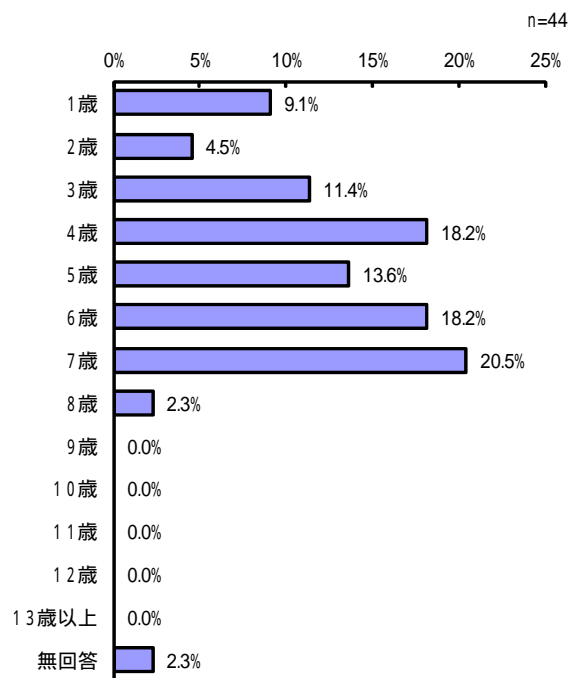
問 14 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに つけ、該当する ( ) 内には数字をご記入ください。

就労していない母親に就労希望を聞いたところ、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい」が 46.8%と半数近い。

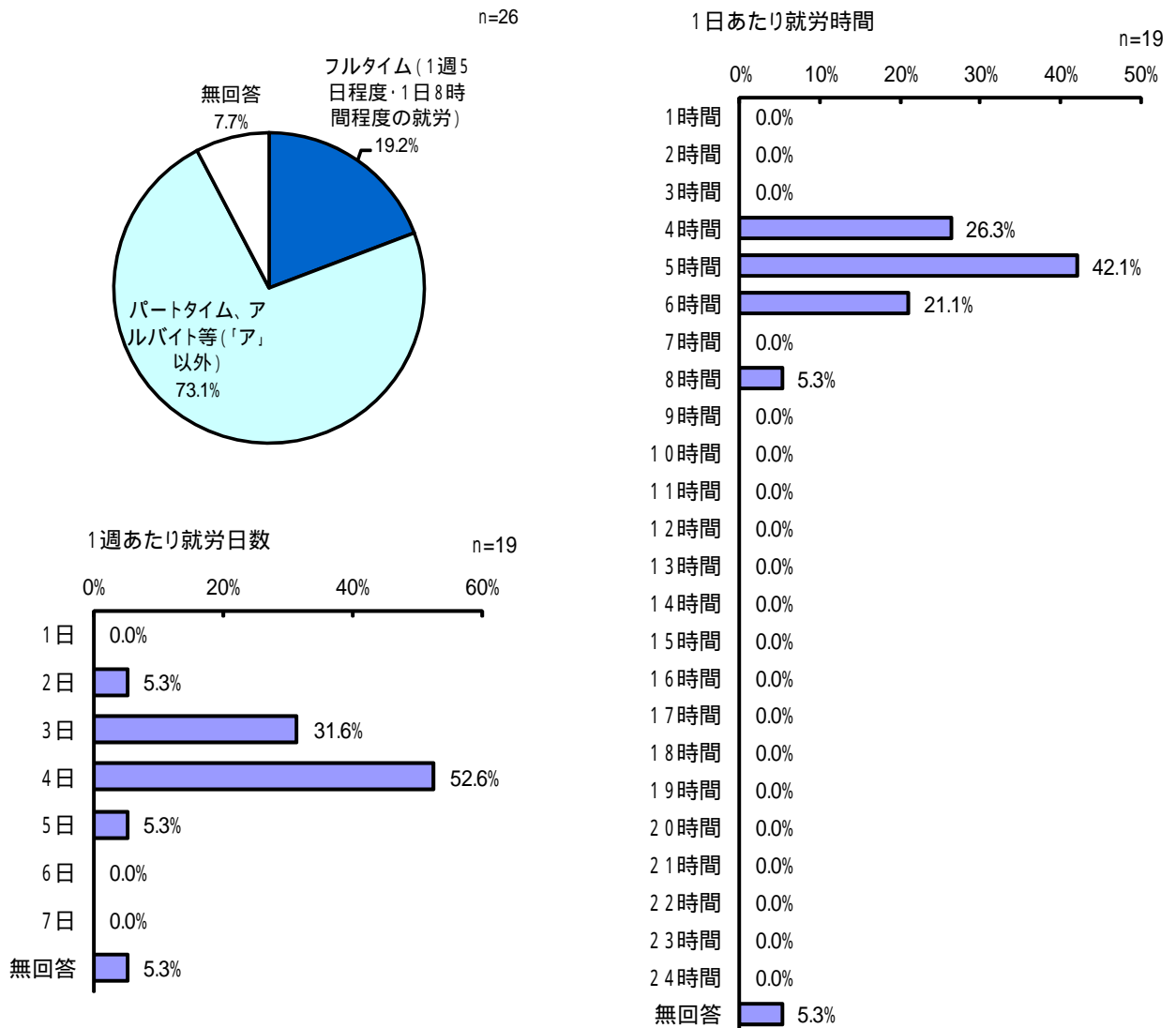
子どもが何歳くらいで就労したいかについては、「7歳」20.5%、「4歳」及び「6歳」いずれも 18.2%、「5歳」13.6%、「3歳」11.4%などの順である。



就労希望母親 就労を開始したい末子の年齢



また、希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が73.1%、「フルタイム」19.2%である。1週当たりの就労日数は「4日」が最も多く、次いで「3日」などであり、1日当たり就労時間は「5時間」が最も多く、次いで「4時間」「6時間」の順である。



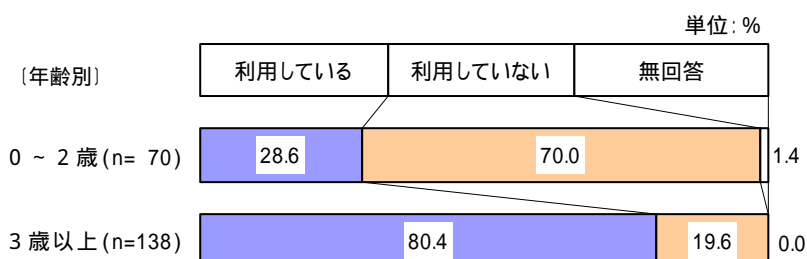
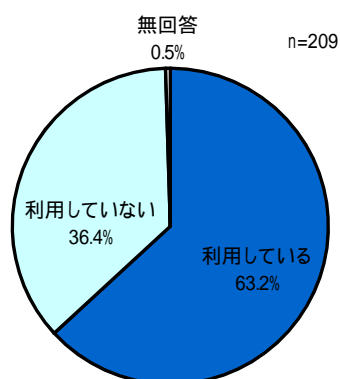
就労していない父親についても同様の質問をしているが、回答者は2人であるため、分析は及びグラフは省略する。

## 4. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに をつけてください。(他の市町村で利用している場合も含む)

平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」は 63.2%、「利用していない」36.4%である。

子どもの年齢が0～2歳では、「利用していない」が70.0%であるが、3歳以上になると「利用している」が80.4%である。

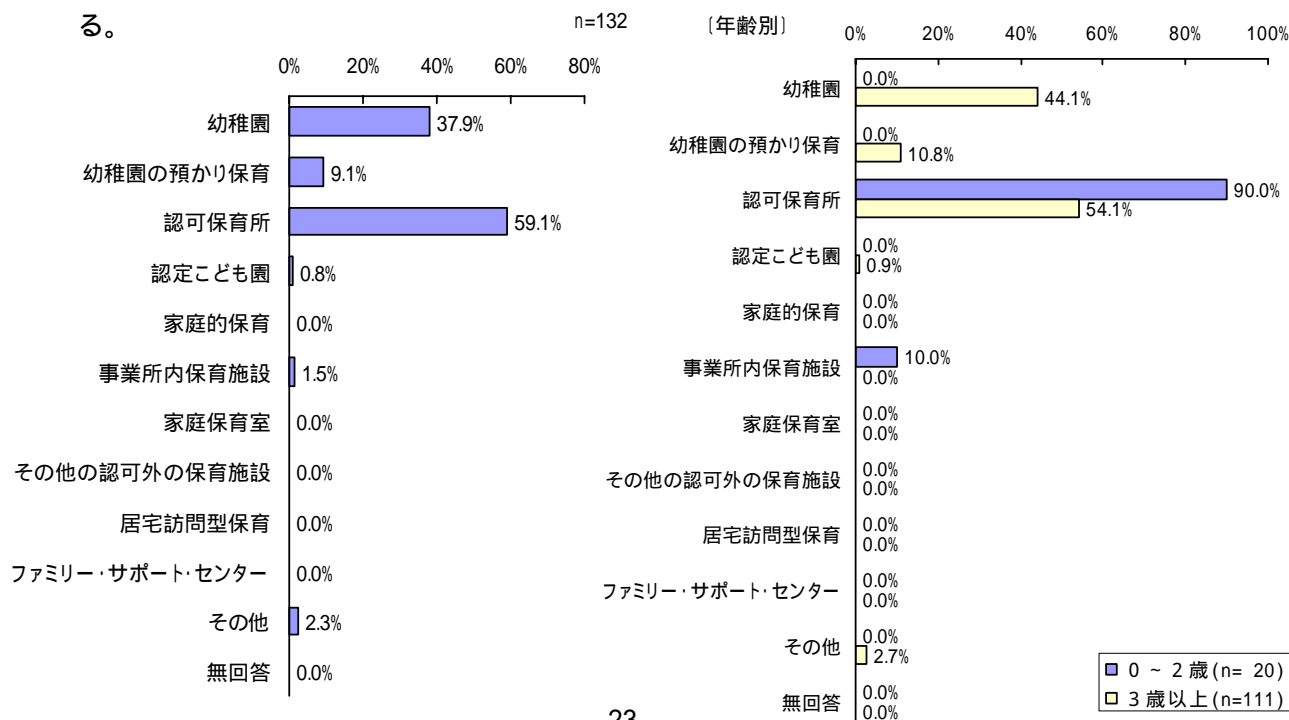


問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1.利用している」に をつけた方にうかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。

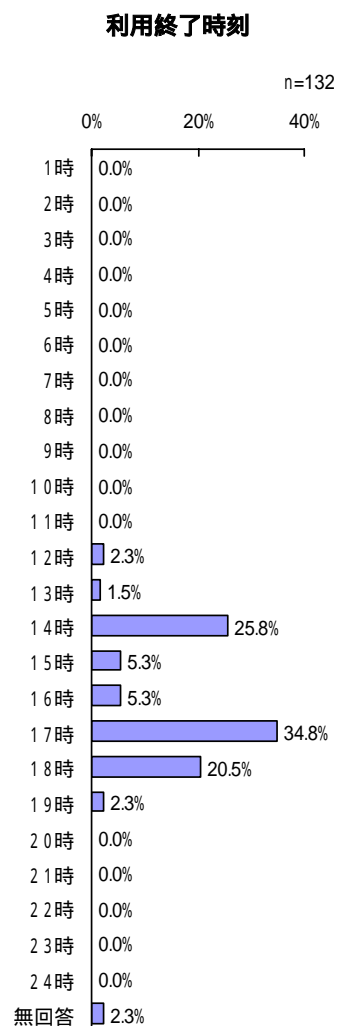
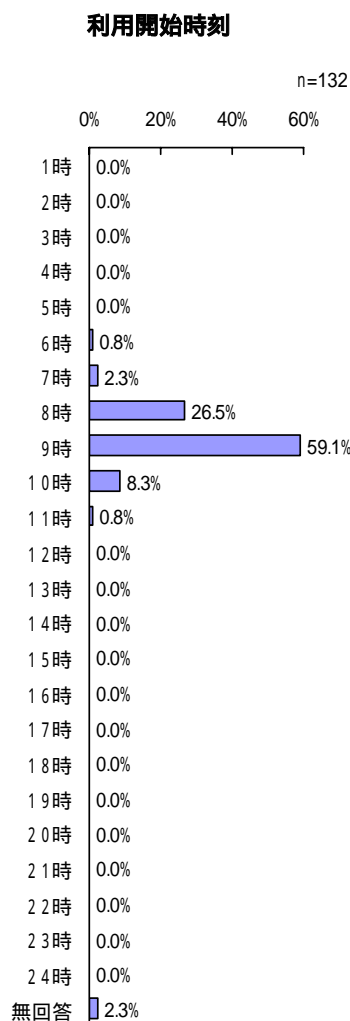
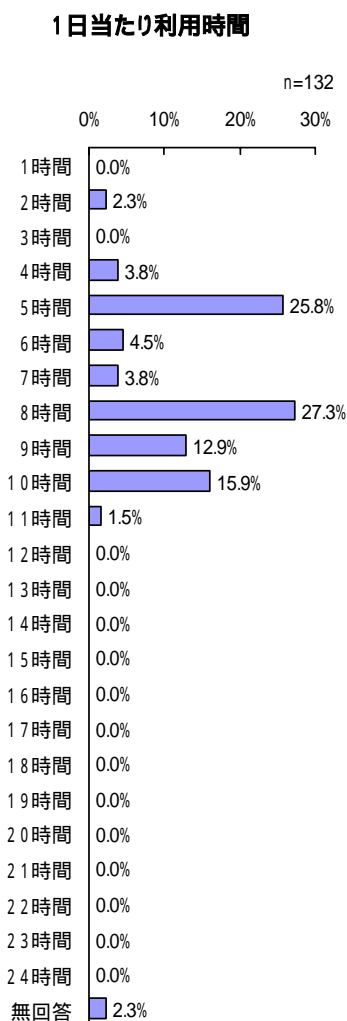
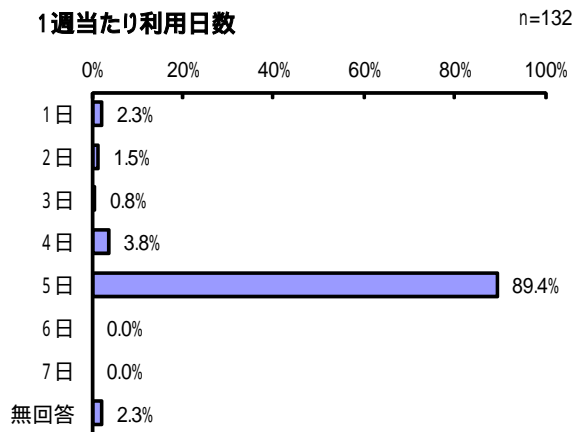
定期的に利用している事業で最も多いのが、「認可保育所」で 59.1%、次いで「幼稚園」の 37.9%、「幼稚園の預かり保育」9.1%が主なところである。

子どもの年齢が0～2歳では「認可保育所」90.0%、「事業所内保育施設」10.0%であり、3歳以上では、「認可保育所」54.1%、「幼稚園」44.1%、「幼稚園の預かり保育」10.8%である。

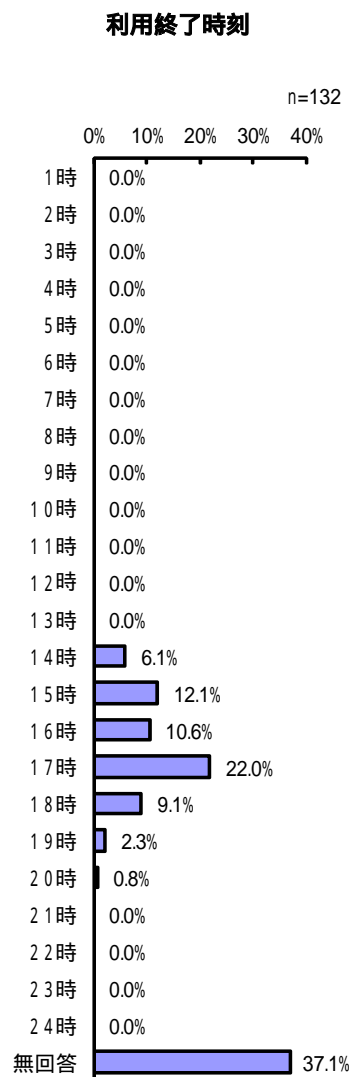
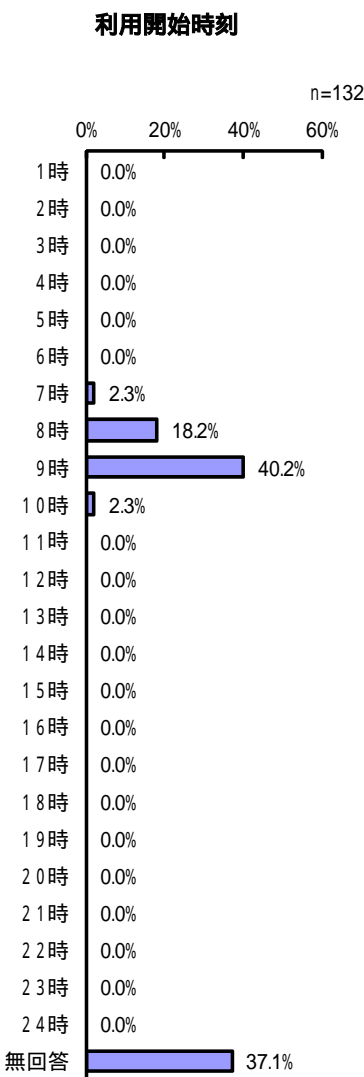
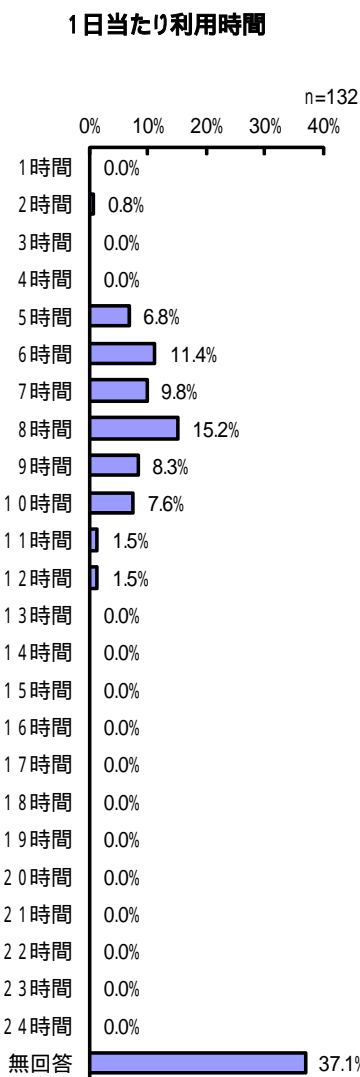
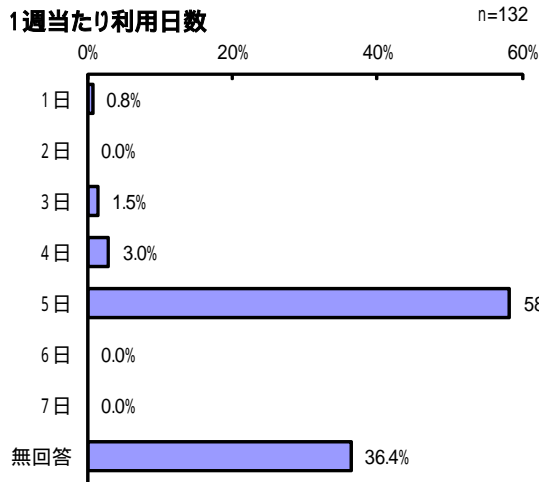


**問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、( )内に具体的な数字でご記入ください。時刻は、必ず (例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。**

現在の利用は、1週当たり「5日」が9割を占める。1日当たり利用時間は「8時間」「5時間」次いで、「10時間」「9時間」などである。開始時刻は、「9時」と「8時」が大半であり、終了時刻は「17時」「14時」「18時」の順である。

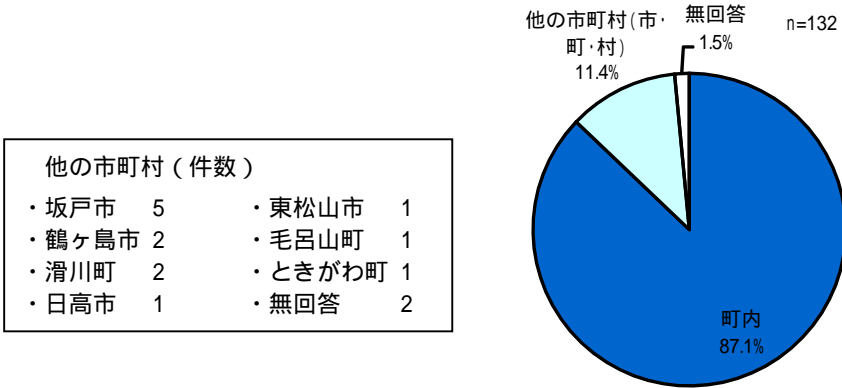


希望は、1週当たり「5日」が多い。1日当たり利用時間は「8時間」「6時間」「7時間」など多岐にわたる。開始時刻は「9時」、終了時刻は「17時」「15時」「16時」など、こちらでも多岐にわたる。



**問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに をつけてください。「2. 他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入してください。**

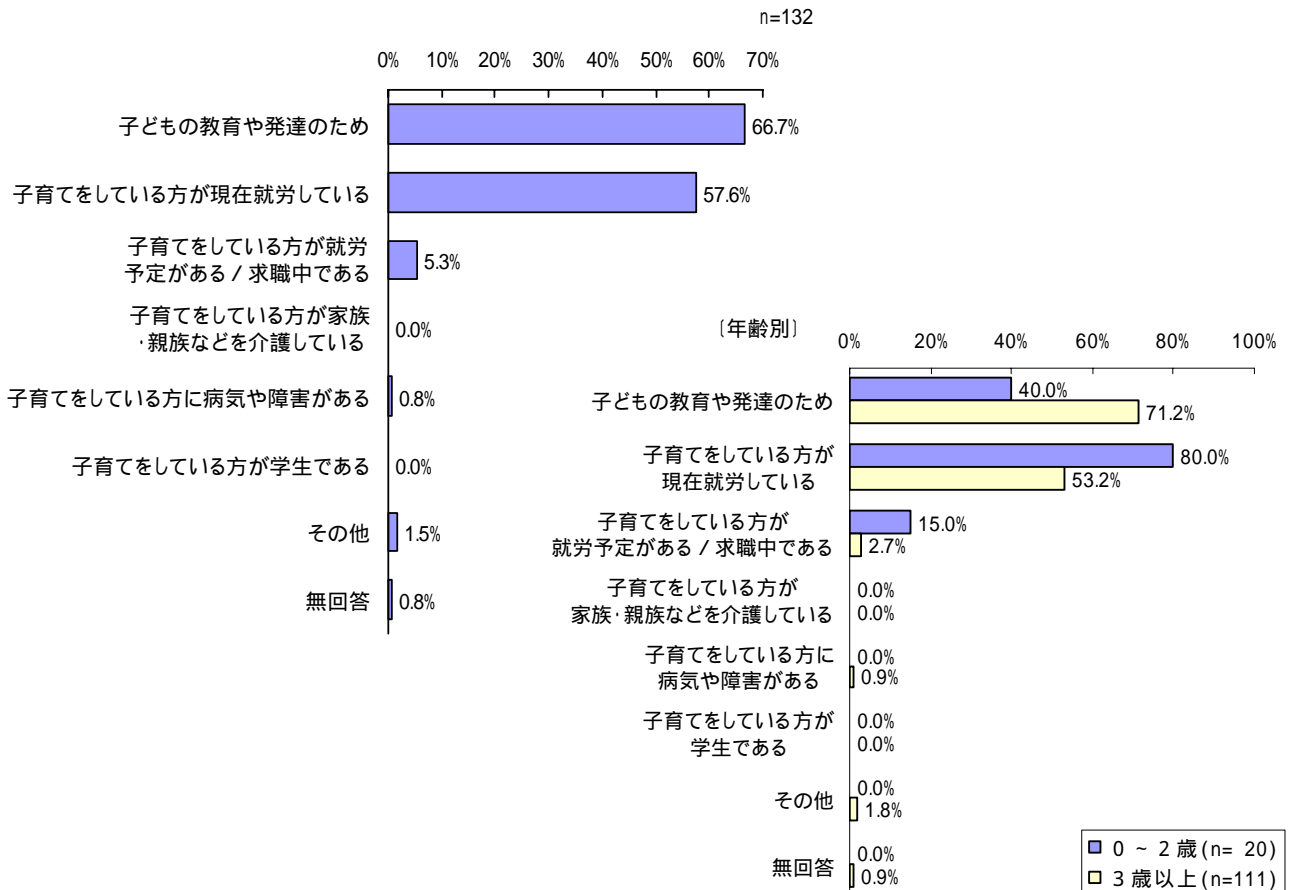
利用している教育・保育事業の実施場所は「町内」が87.1%と9割近い。



**問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに をつけてください。**

利用している理由は「子どもの教育や発達のため」66.7%、「子育てをしている方が現在就労している」57.6%が主なところである。

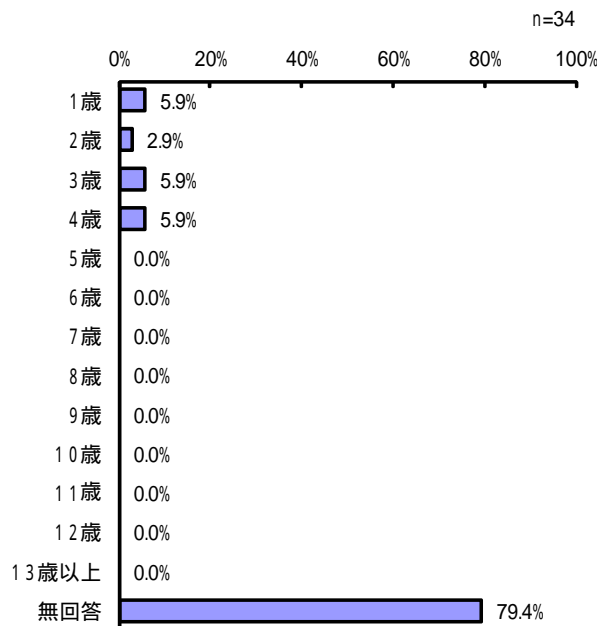
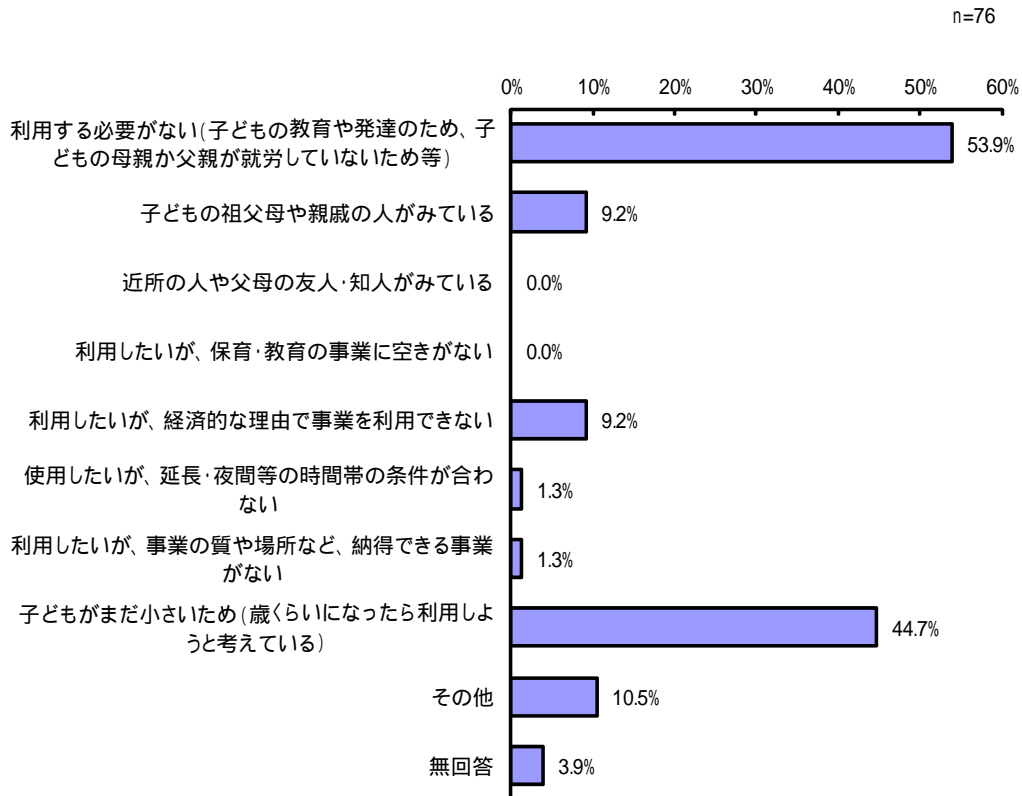
子どもの年齢で見ると、「子育てをしている方が現在就労している」は0～2歳で80.0%、3歳以上は53.2%、一方、「子どもの教育や発達のため」は0～2歳40.0%、3歳以上71.2%である。



問 15 で「 2 . 利用していない」に つけた方にうかがいます。

問 15-5 利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに をつけてください。

利用していない理由は、「利用する必要がない」53.9%、「子どもが小さいため」44.7%が主なところであるが、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」及び「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」いずれも 9.2%である。また、「子どもが小さいため」と回答した人に何歳くらいになったら利用するかを聞いたところ、約 8 割は無回答であったが、「1 歳」「3 歳」及び「4 歳」がいずれも 5.9%である。

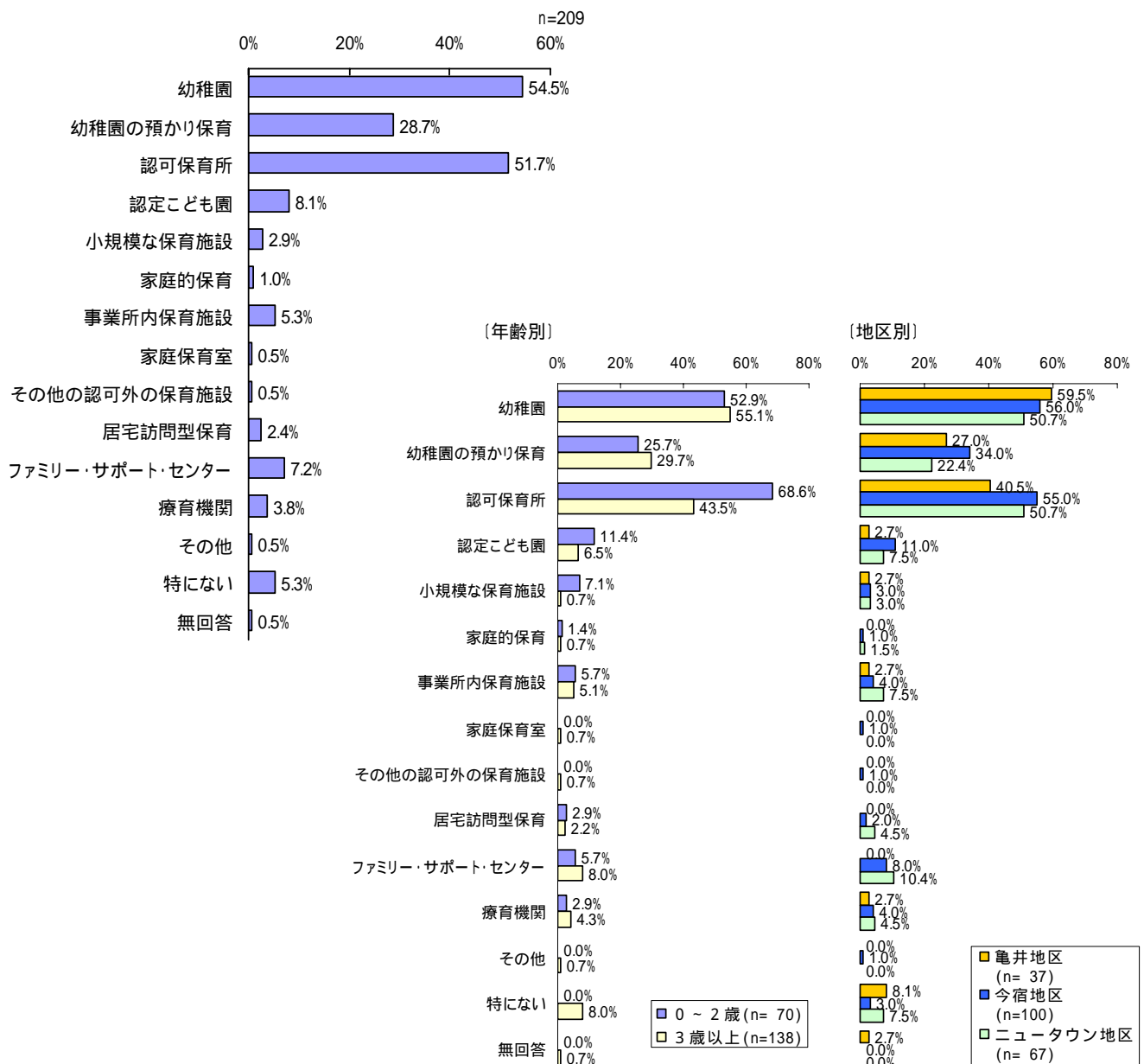


**問 16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、今後「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。(参考として、鳩山町あるいは一般的な料金です。)**

今後、定期的に利用したい事業は「幼稚園」が54.4%、「認可保育所」が51.7%、「幼稚園の預かり保育」28.7%が主なところであり、他はすべて1割以下である。

地区別にみると、いずれの地区も「幼稚園」が最も多い。亀井地区 59.5%、今宿地区 56.0%、ニュータウン地区 50.7%（「認可保育所」と同率）である。認可保育所は今宿地区 55.0%、ニュータウン地区 50.7%、亀井地区 40.5%である。

子どもの年齢別では、0～2歳は「認可保育所」68.6%、「幼稚園」52.9%に対し、3歳以上は、「幼稚園」55.1%、「認可保育所」43.5%である。また「認定こども園」は0～2歳11.4%、3歳以上6.5%である。

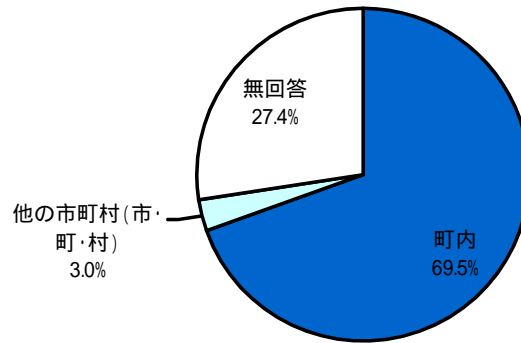




問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに  
をつけてください。「2.他の市町村」を選んだ場合は、実施場所の市町村名を記入し  
 てください。

利用したい場所は「町内」が69.5%と約7割である。

n=197



他の市町村（件数）

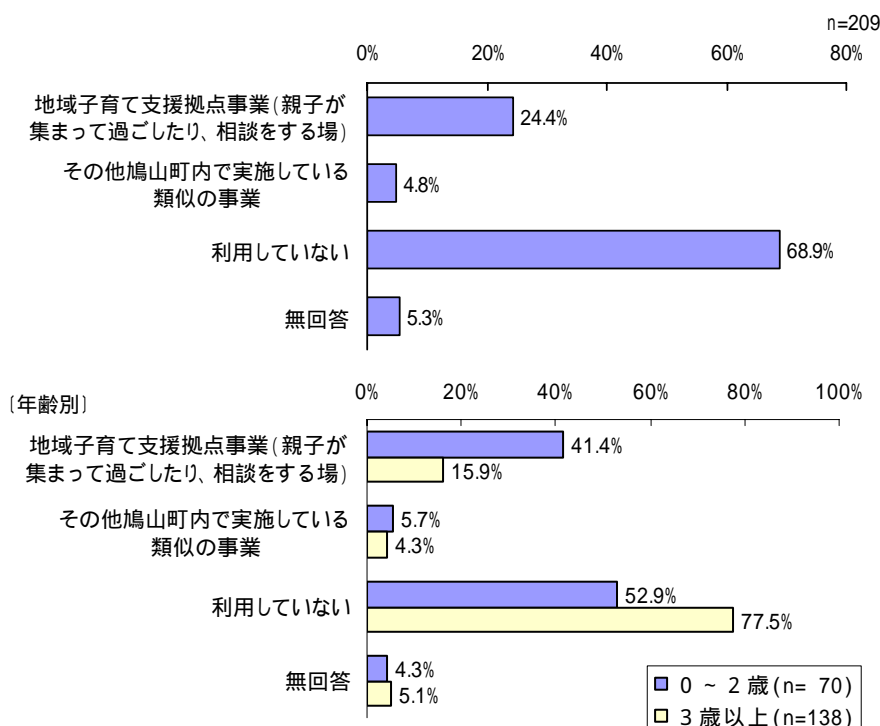
- ・坂戸市 1
- ・無回答 5

## 5 . 地域の子育て支援事業の利用状況

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。

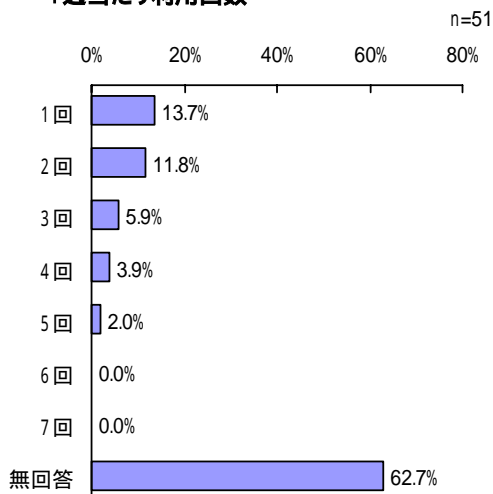
地域子育て支援拠点事業の利用は「利用していない」が68.9%と7割近く、地域子育て支援拠点事業の利用は24.4%である。利用回数は、1週当たり「1回」「2回」「3回」の順である。1月当たりは「1回」「2回」などである。

子どもの年齢でみると「地域子育て支援拠点事業」は、0～2歳が41.4%と3歳以上の15.9%を大きく上回る。

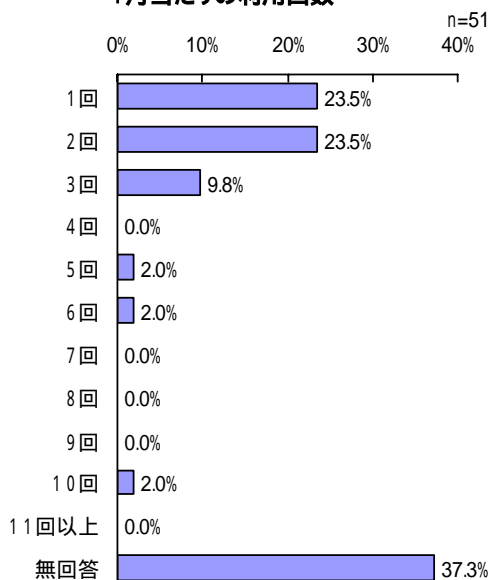


### 地域子育て支援拠点事業

#### 1週当たり利用回数



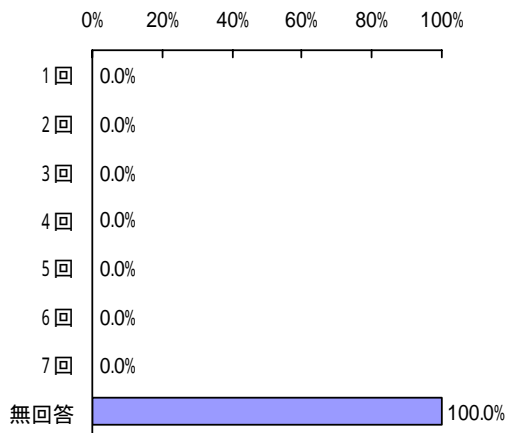
#### 1月当たりの利用回数



鳩山町内で実施している類似の事業

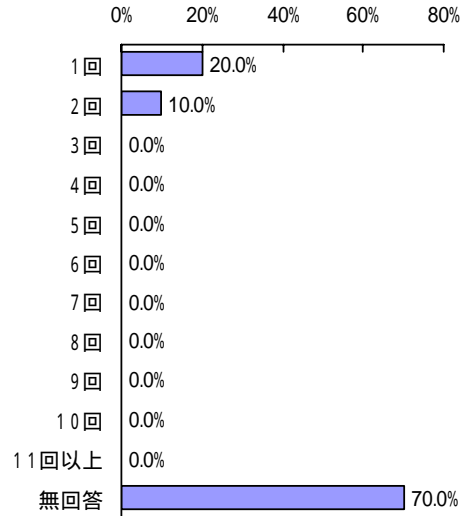
1週当たり利用回数

n=10



1月当たりの利用回数

n=10



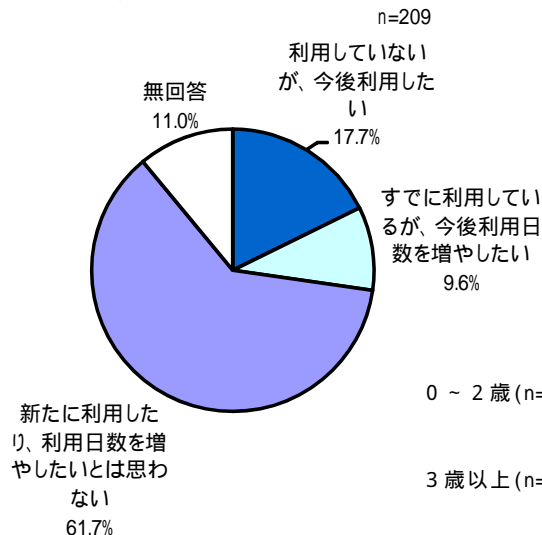
**問 18** 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号一つをつけて、おおよその利用回数（頻度）を（ ）内に数字でご記入ください。また、利用したい時間帯（何時から何時まで）を、（ ）内に具体的な数字でご記入ください。時刻は、必ず（例）9時～18時のように24時間制でご記入ください。

地域子育て支援拠点事業の今後の利用は「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」61.7%、「利用していないが、今後利用したい」17.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」9.6%である。

子どもの年齢で見ると、利用意向が多いのは0～2歳である。

「利用していないが、今後利用したい」人の今後の利用希望日数は、1週当たり「1回」が最も多く、1ヶ月当たりでは「2回」「1回」などである。開始時刻は、「10時」が最も多く、終了時刻は「12時」「15時」などである。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」は1週当たりさらに「1回」「2回」などであり、1ヶ月当たりではさらに「4回」「2回」及び「3回」である。開始時刻は、「10時」、終了時刻は「12時」が最も多い。



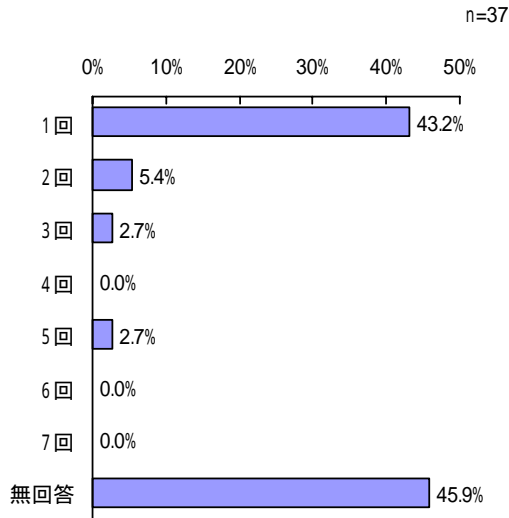
〔年齢別〕

単位：%

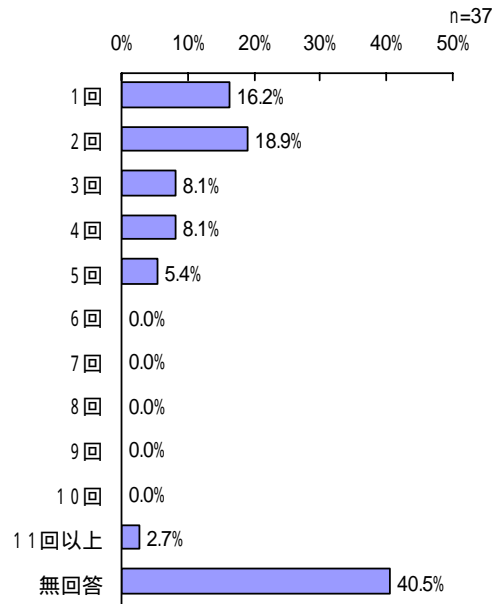
	利用していないが、今後利用したい	すでに利用、日数を増やしたい	新たに利用したり日数を増やしたいと思わない	無回答
0～2歳 (n=70)	35.7	18.6	37.1	8.6
3歳以上 (n=138)	8.0	5.1	74.6	12.3

今後利用 - 利用希望

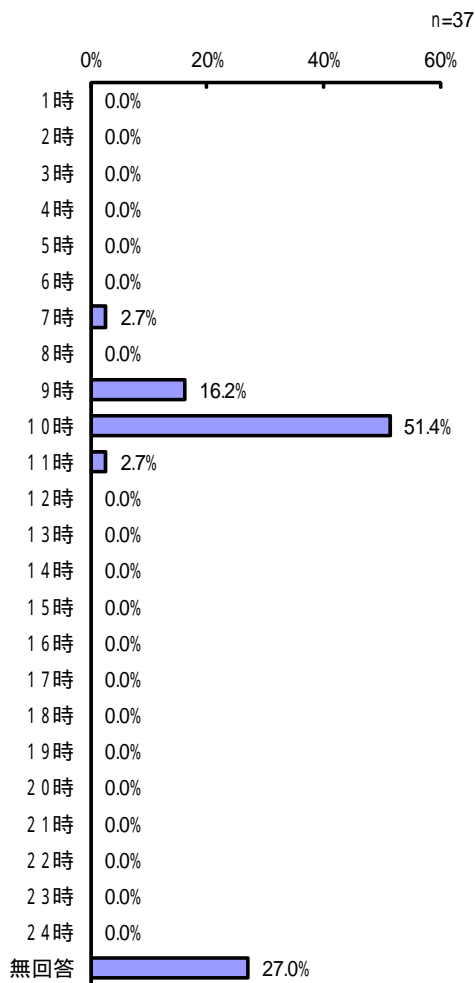
1週当たり利用回数



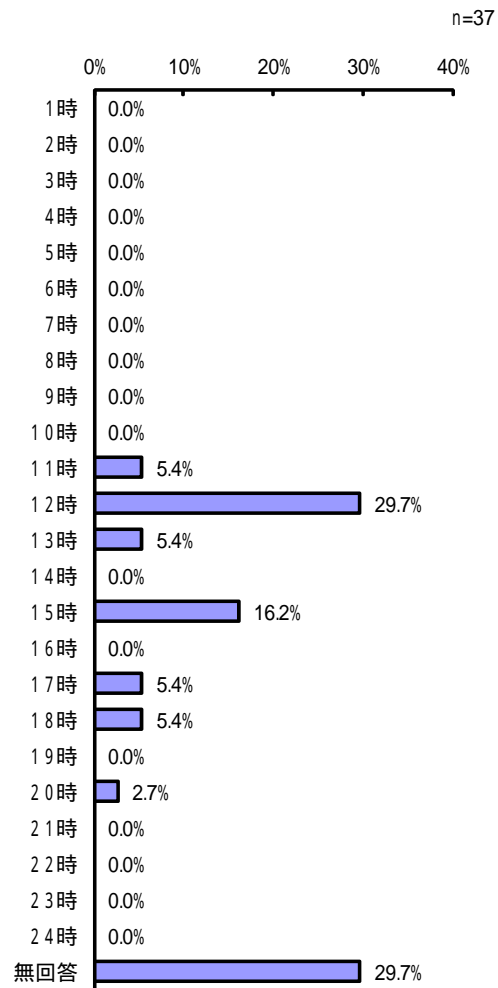
1月当たりの利用回数



利用開始時刻

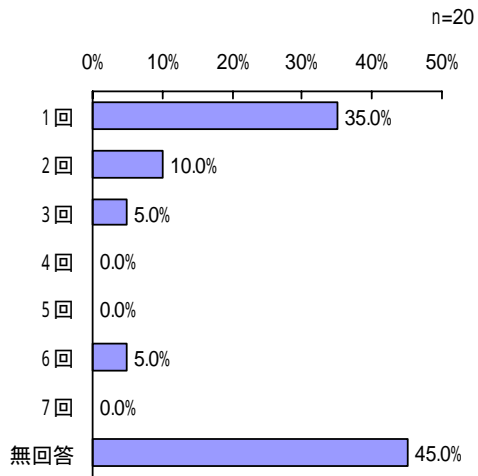


利用終了時刻

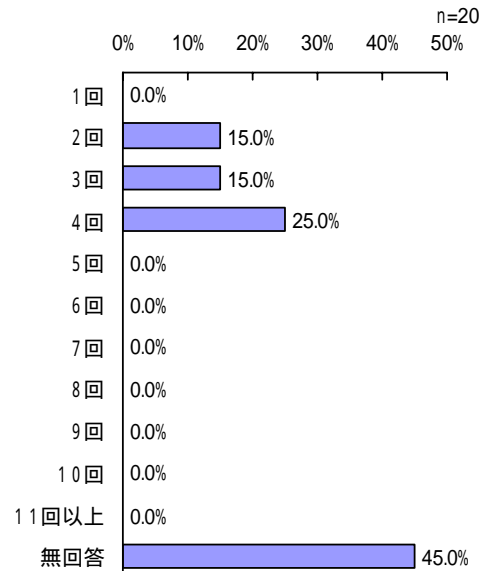


すでに利用 - 利用希望

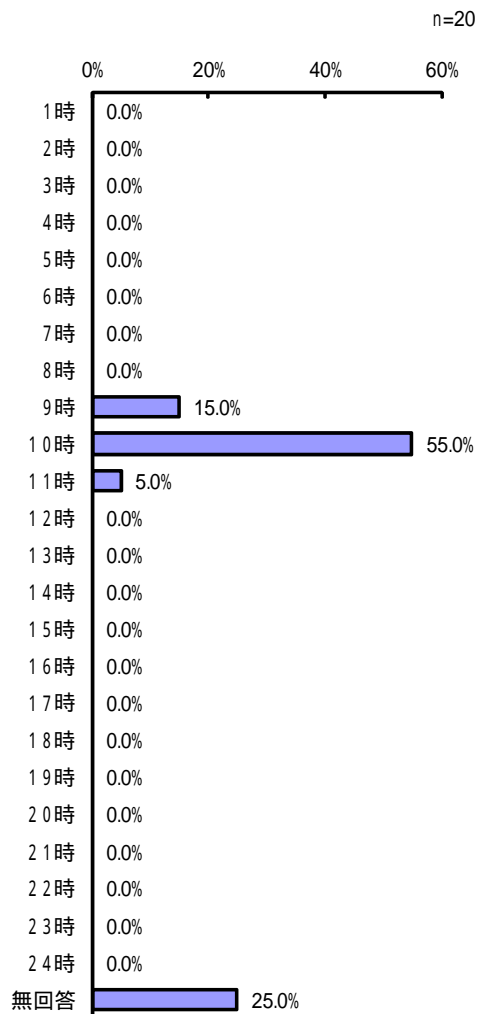
1週当たり増やしたい回数



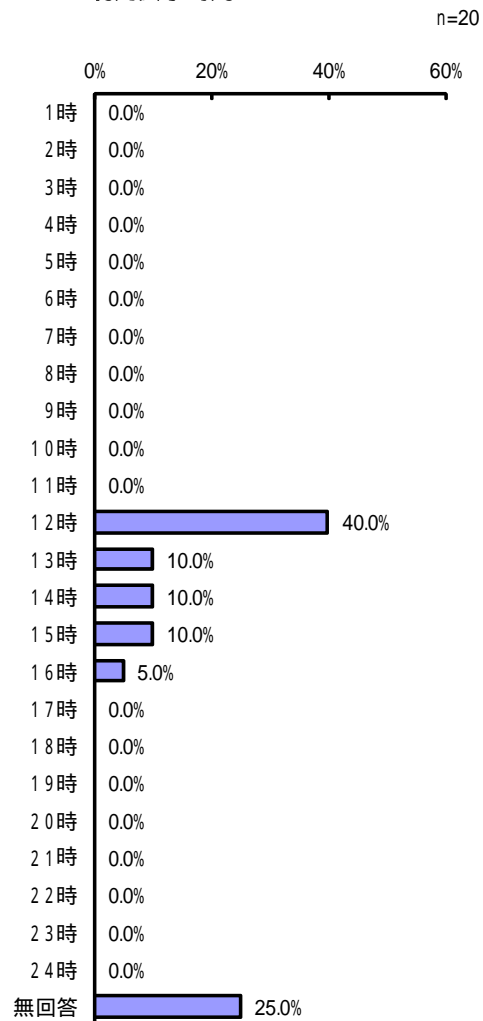
1月当たり増やしたい回数



利用時刻回数



利用終了時刻

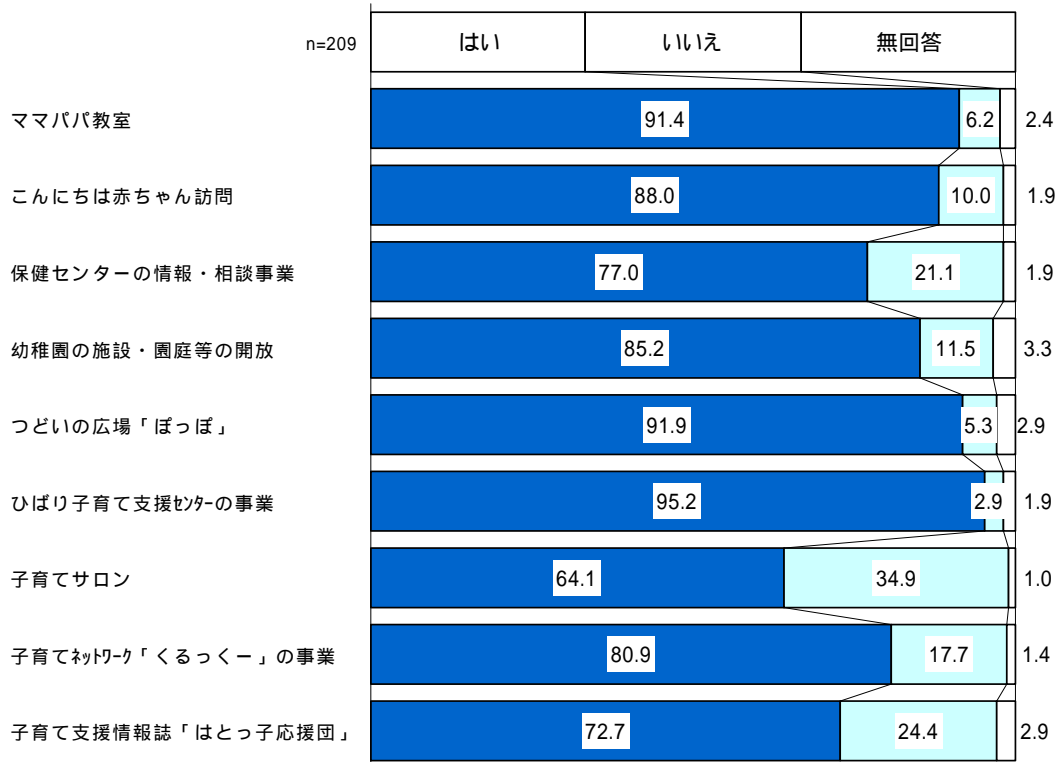


問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。～ の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

各種事業の認知

各種事業を知っているかどうかについては、いずれも「はい」が多く、多い順に「ひばり子育て支援センターの事業」95.2%、「つどいの広場『ぽっぽ』」91.9%、「こんにちは赤ちゃん訪問」88.0%、「幼稚園の施設・園庭等の開放」85.2%などである。

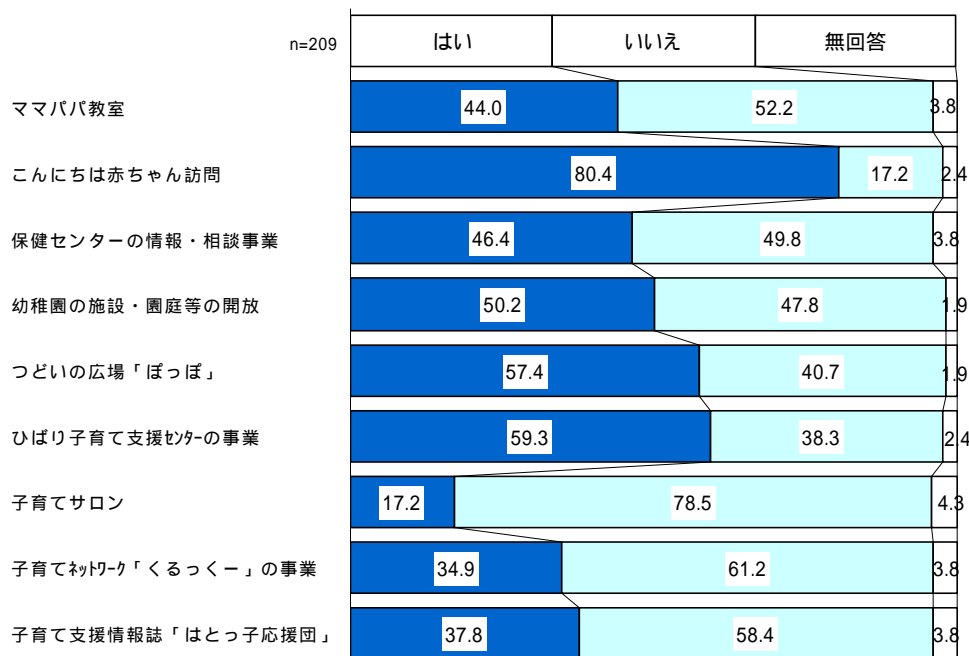
単位：%



### 各種事業の利用経験

これまでに利用したことがあるかどうかについては、「はい」が最も多いのは「こんにちは赤ちゃん訪問」の80.4%である。次いで「ひばり子育て支援センターの事業」59.3%、「つどいの広場『ぼっぼ』」の57.4%、「幼稚園の施設・園庭等の開放」50.2%と続く。最も少ないのは、「子育てサロン」の17.2%である。

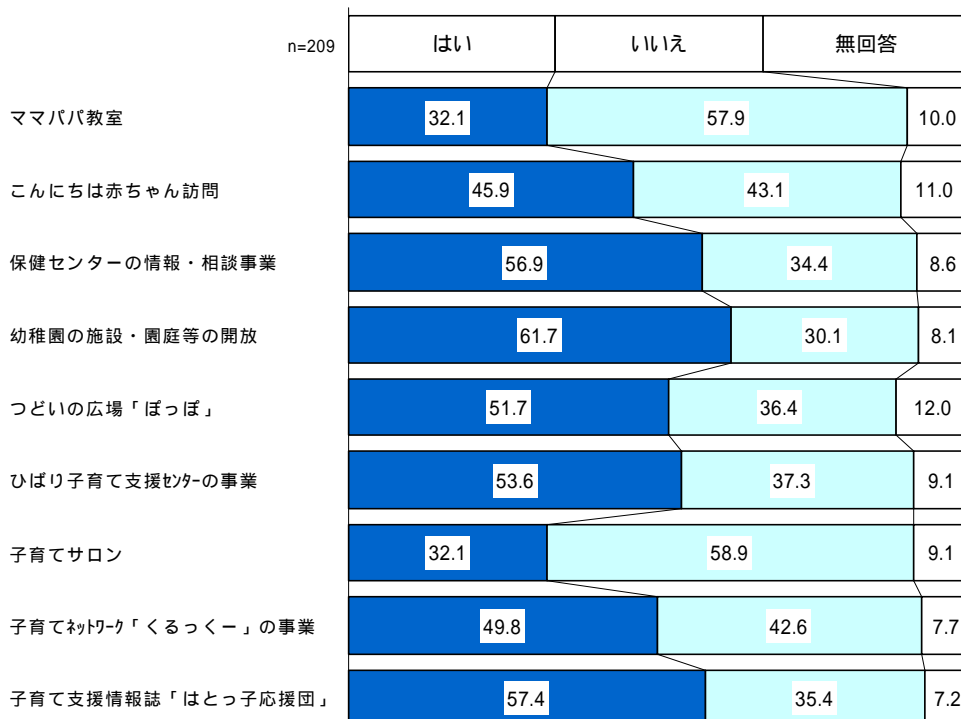
単位：%



### 各種事業の利用希望

今後利用したいとする「はい」が最も多いのは、「幼稚園の施設・園庭等の開放」61.7%、「子育て支援情報誌『はとっ子応援団』」57.4%、「保健センターの情報・相談事業」56.9%、「ひばり子育て支援センターの事業」53.6%などである。最も少ないのは、「ママパパ教室」及び「子育てサロン」の32.1%である。

単位：%



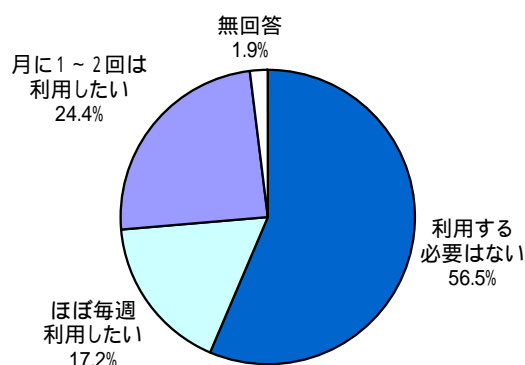
## 6 . 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業について

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

### 土曜日の利用希望

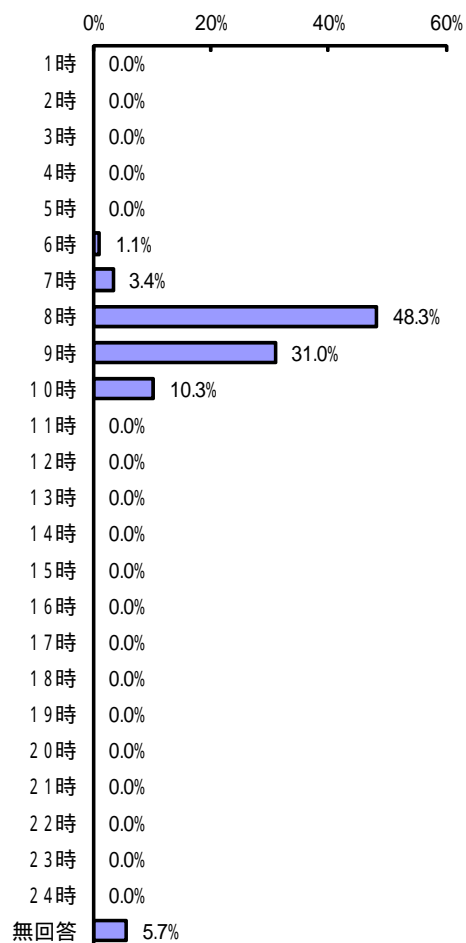
土曜日の利用は、「利用する必要はない」56.5%、「月に1～2回は利用したい」24.4%、「ほぼ毎週利用したい」17.2%である。開始時刻は、「8時」「9時」、終了時刻は「18時」「17時」が多い。

n=209



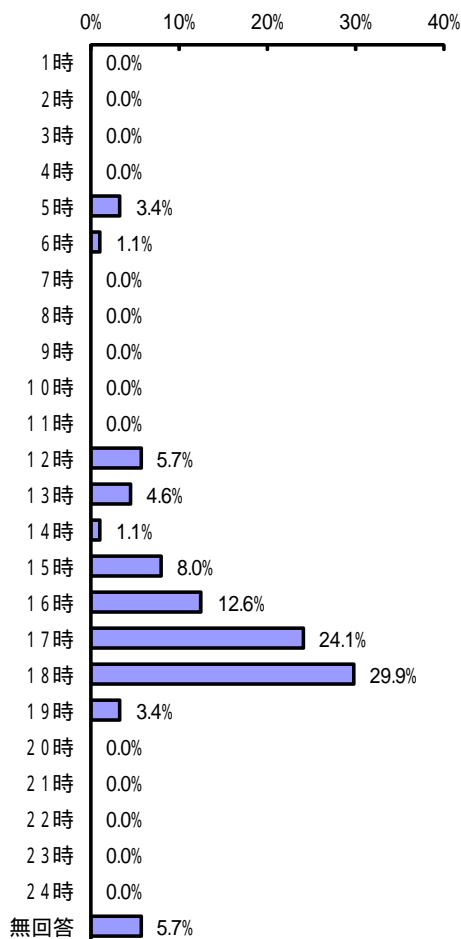
### 利用時刻回数

n=87



### 利用終了時刻

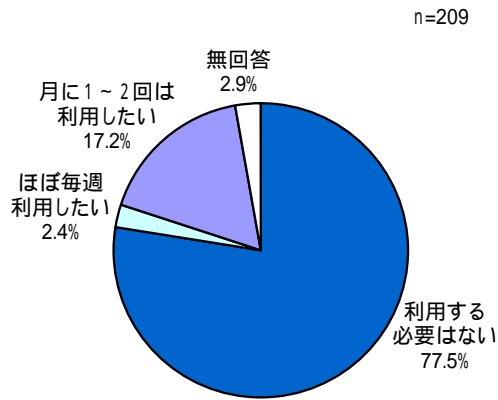
n=87





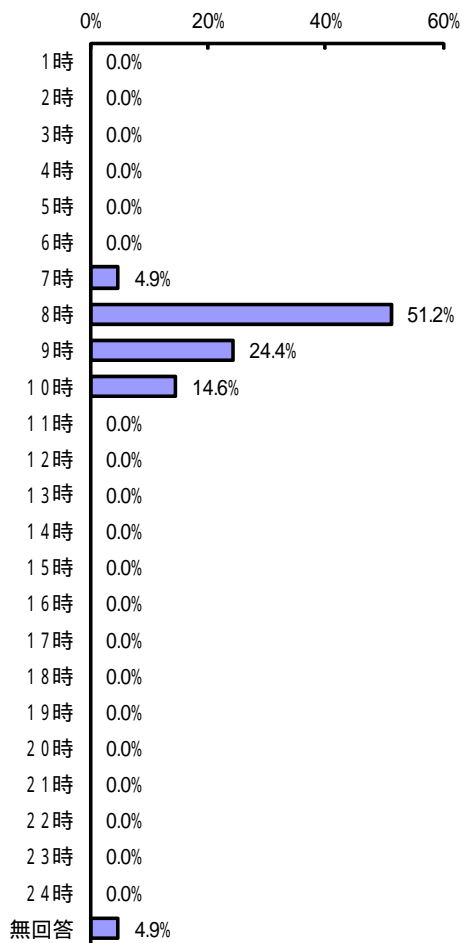
### 休日の利用希望

日曜・祝日は「利用する必要はない」は77.5%、「月に1～2回は利用したい」17.2%、「ほぼ毎週利用したい」2.4%である。開始時刻は、「8時」、終了時刻は「18時」「17時」などである。



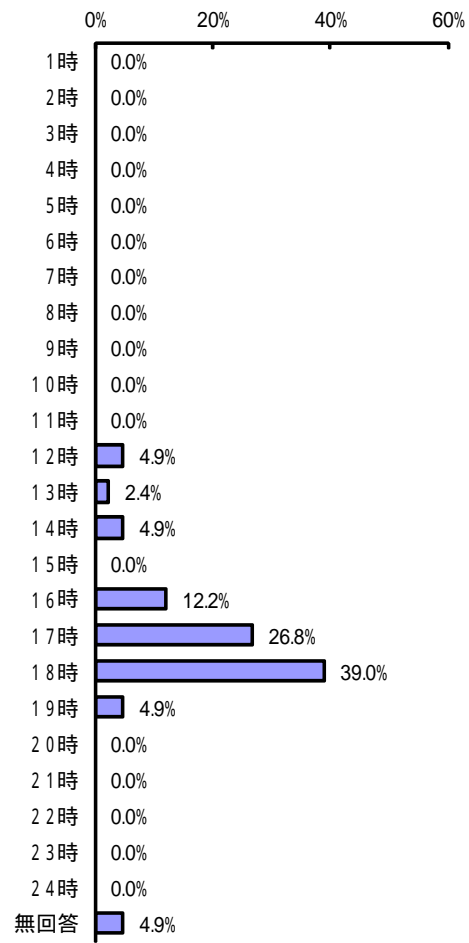
### 利用開始時刻

n=41



### 利用終了時刻

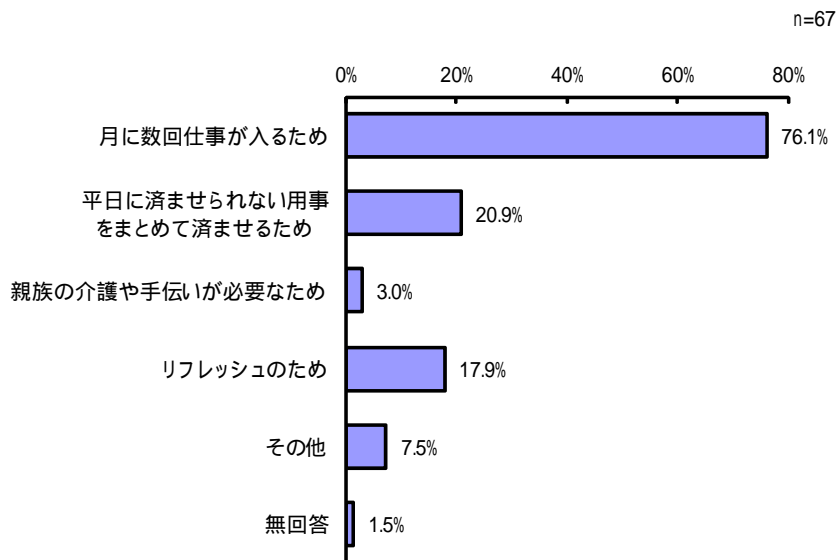
n=41



問 20 の ( 1 ) または ( 2 ) で、「3月に 1 ~ 2 回は利用したい」に つけた方にうかがいます。

問 20-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに つけて ください。

土曜日及び日曜・祝日の利用において、毎週ではなく「月に 1 ~ 2 回利用したい」とした理由を聞いた。「月に数回仕事が入るため」76.1%が最も多く、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」20.9%、「リフレッシュのため」17.9%などである。

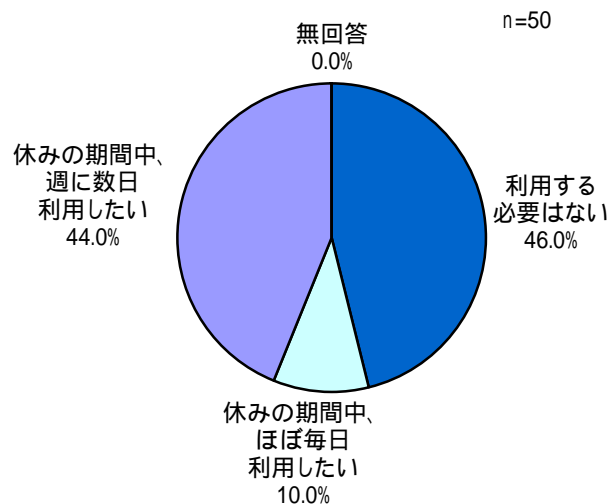


「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

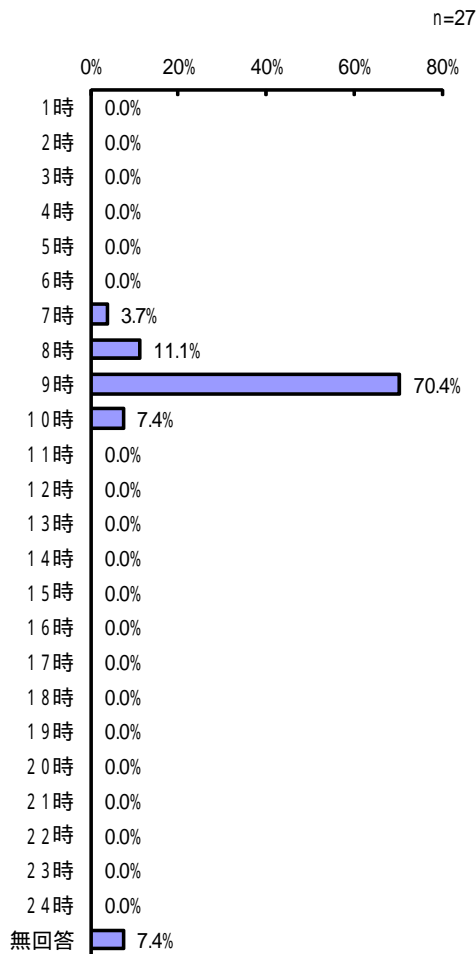
問 21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)9時~18時のように24時間制でご記入ください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

幼稚園を利用しているとした人に夏休み、冬休みなど長期の休暇中の教育・保育事業の利用を聞いたところ「利用する必要はない」が 46.0%、「休みの期間中、週に数日利用したい」44.0%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」10.0%である。

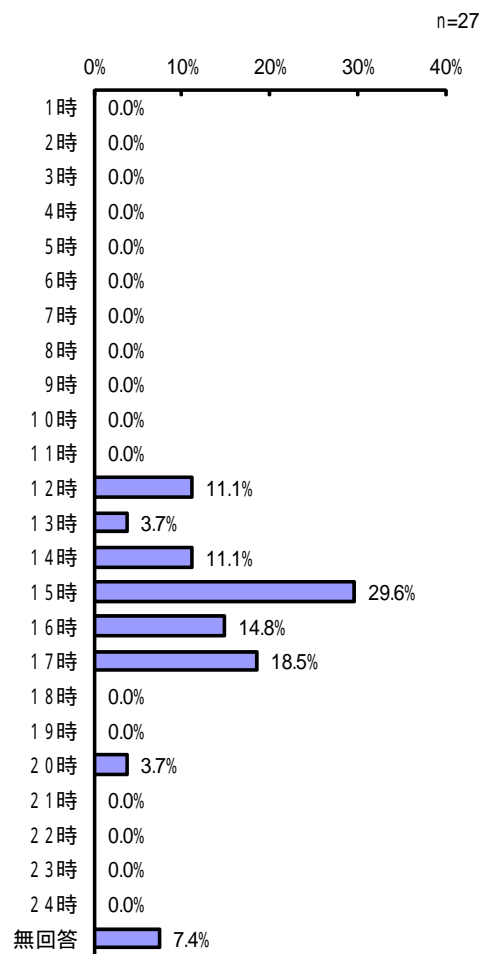
開始時刻は、「9時」が最も多い。終了時刻は「15時」「17時」「16時」とやや分かれる。



利用開始時刻



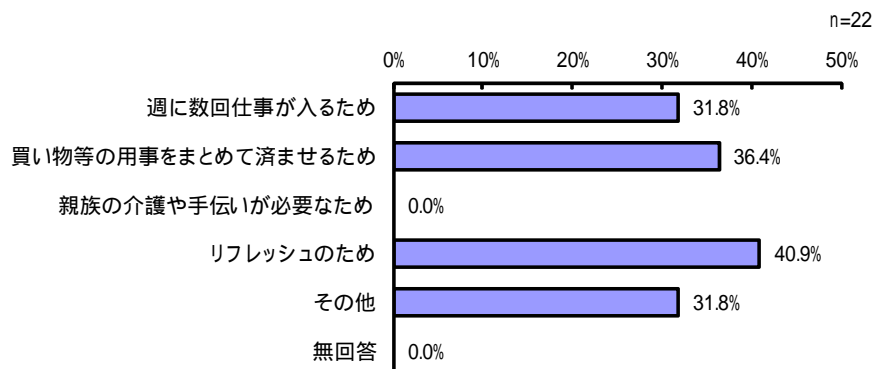
利用終了時刻



問 21 で、「3 . 週に数日利用したい」に をつけた方にうかがいます。

問 21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

「週に数日利用したい」とした人にその理由を聞いたところ、「リフレッシュのため」40.9%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」36.4%、「週に数日仕事が入るため」31.8%などである。

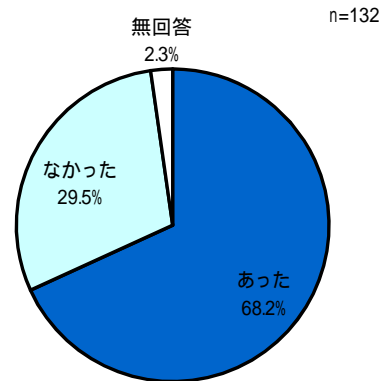


## 7. 病気の際の対応について

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に つけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 23 へお進みください。

**問 22 この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。**

平日の定期的な教育・保育事業を利用している人で、子どもが病気やケガで利用できなかったことが「あった」は 68.2%、「なかった」29.5%である。

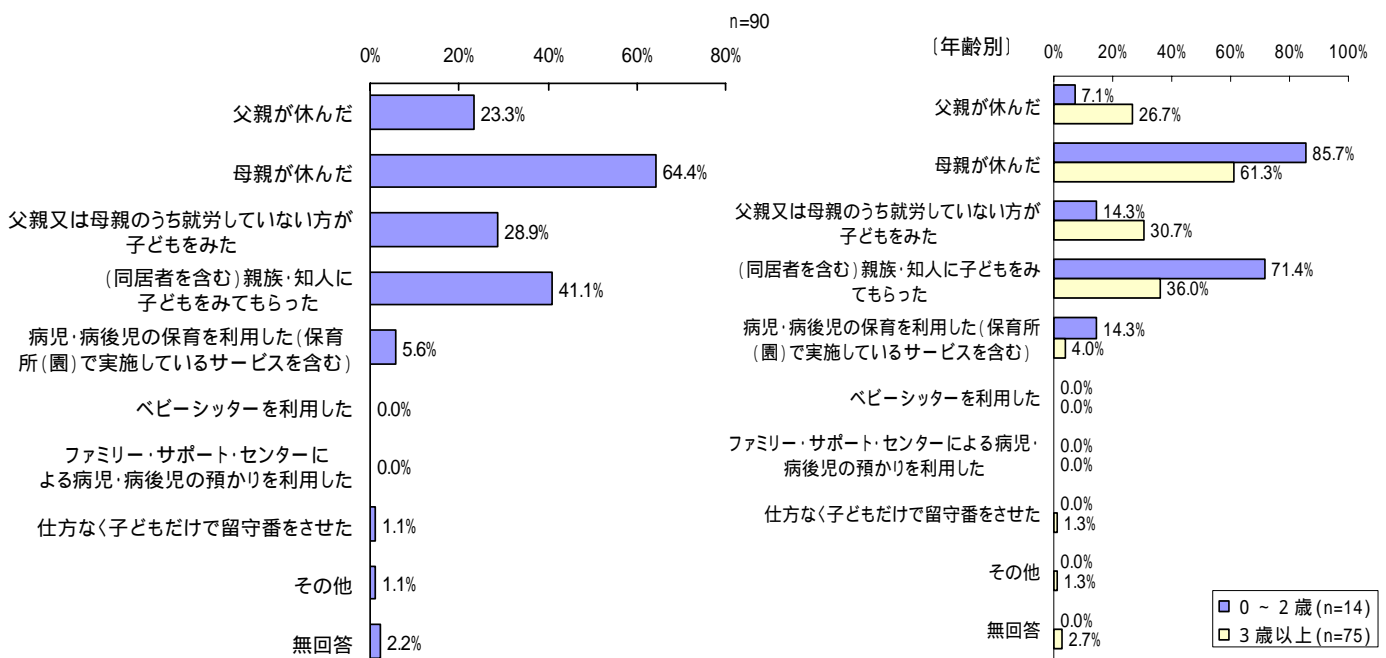


問 22 で「1. あった」に つけた方にうかがいます。

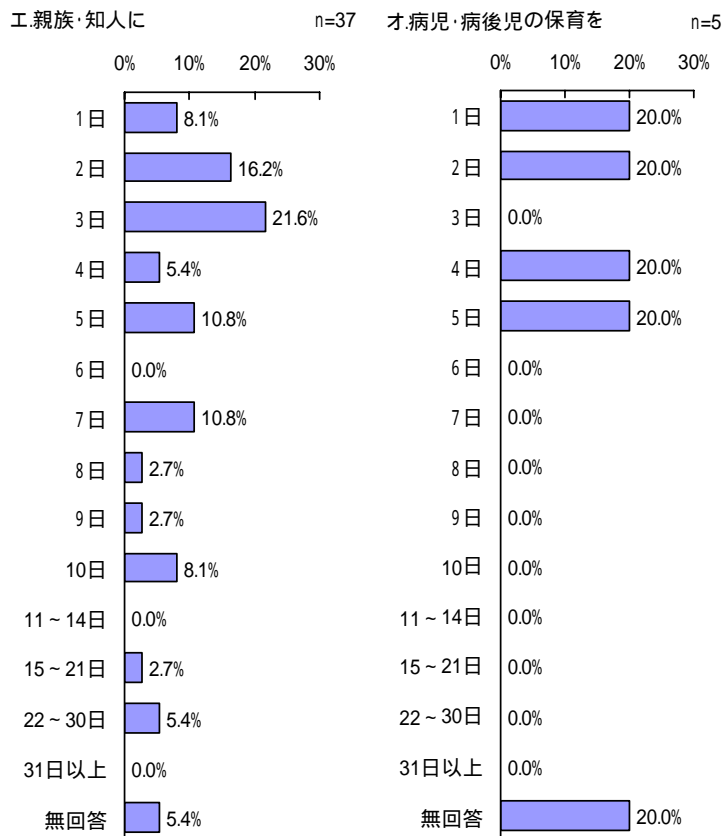
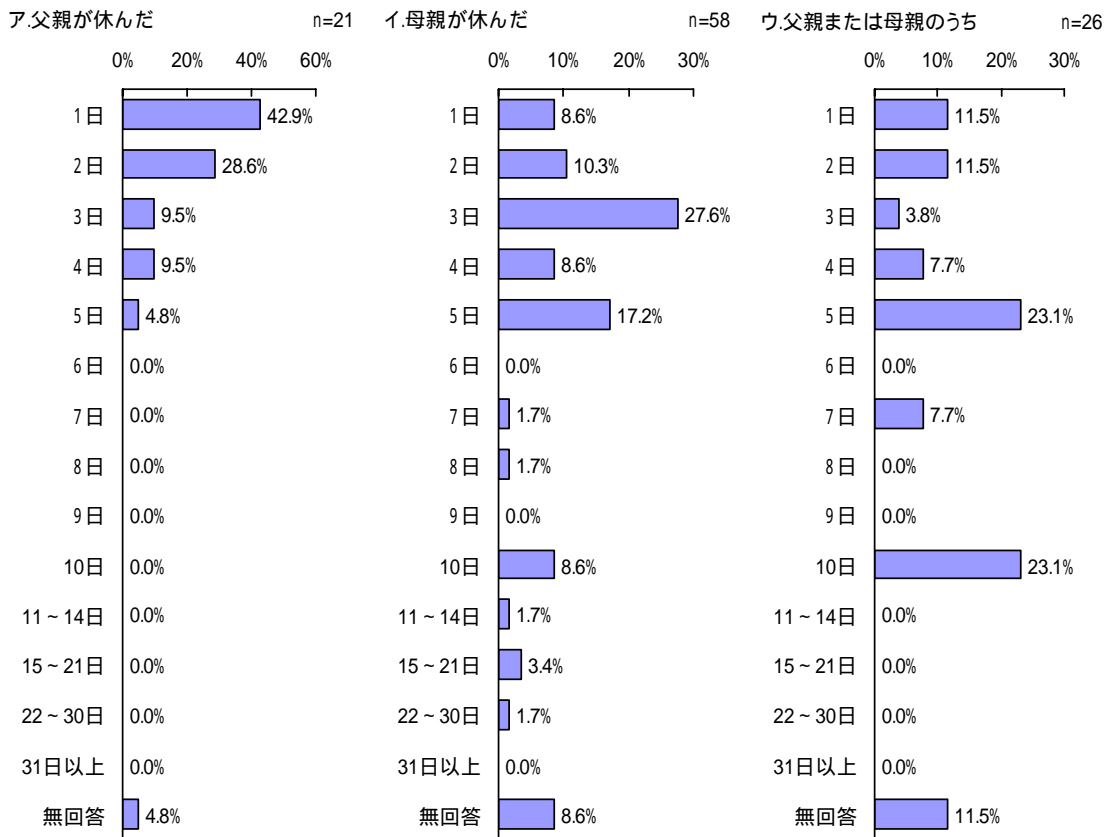
**問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに つけ、それぞれの日数も（ ）内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。)**

利用できないことが「あった」とした人に、その対処方法を聞いたところ、「母親が休んだ」64.4%、「親族・知人に子どもをみてもらった」41.1%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」28.9%、「父親が休んだ」23.3%が主なものであり、「病児・病後児の保育を利用した」は 5.9%、「ベビーシッター」及び「ファミリー・サポート・センター」の利用はゼロである。

子どもの年齢で見ると「母親が休んだ」及び「親族・知人にみてもらった」は 0～2 歳各 85.7%、71.4%、3 歳以上 61.3%、36.0%に対し、「父親が休んだ」及び「就労していない方が子どもをみた」は 0～2 歳各 7.1%、14.3%に対し、3 歳以上各 26.7%、30.7%である。



対処日数は、「父親が休んだ」は「1日」「2日」が多く、「母親が休んだ」は「3日」あるいは「5日」が多い。「親族・知人にみてもらった」は「3日」である。



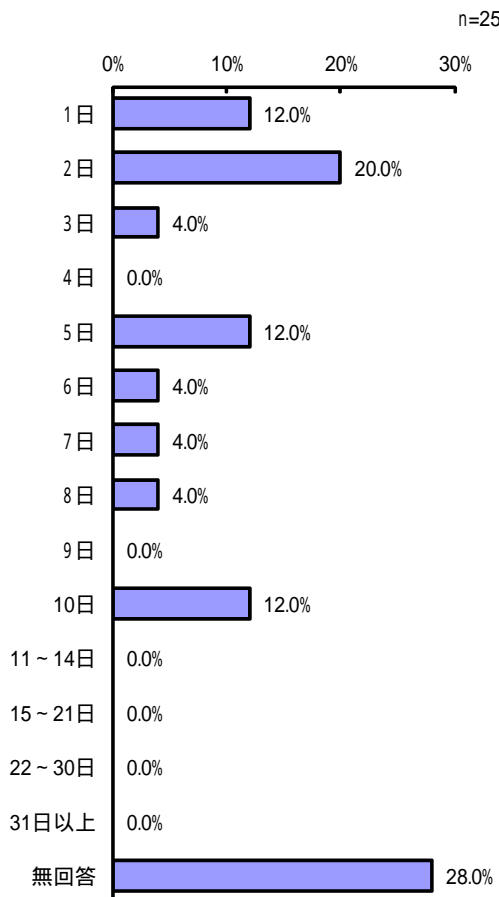
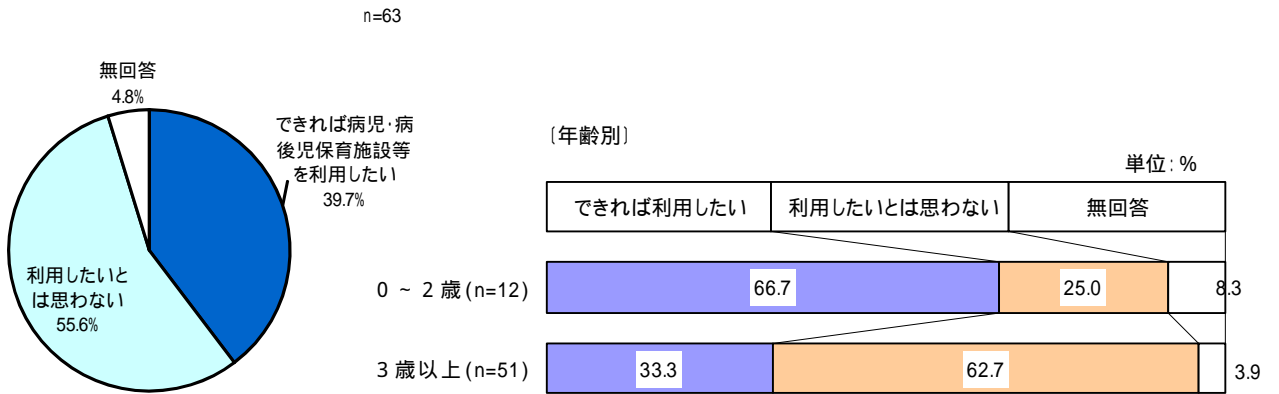
「ベビーシッター」「ファミリー・サポート・センター」は回答者0人、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」「その他」は回答者1人のため、グラフを省略。

問 22-1 で「ア.」または「イ.」のいずれかに をつけた方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに をつけ、日数についても ( ) 内に数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。〔利用料(ひばりゆりかご保育園)：町内在住保育園、幼稚園児 1,000 円/1 日 左記以外 2,000 円/1 日〕

「父親が休んだ」「母親が休んだ」とした人に、病時・病後児のための保育施設等の利用について聞いたところ、「できれば病時・病後児保育施設等を利用したい」は 39.7%、「利用したいと思わない」は 55.6%である。1 年間の利用希望日数は、「2 日」の次は「1 日」「5 日」「10 日」、いずれも同率である。

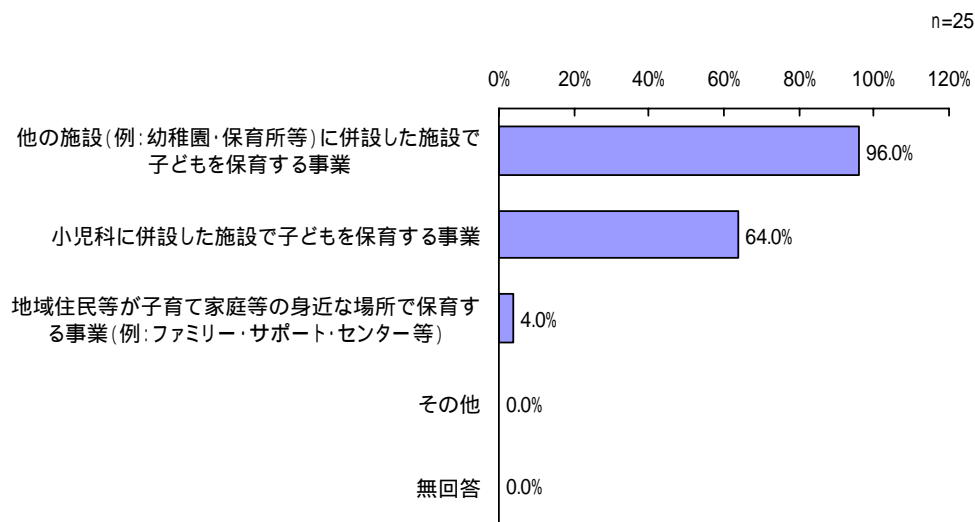
子どもの年齢でみると「できれば病時・病後児保育施設等を利用したい」は 0～2 歳が 66.7%と 3 歳以上を大きく上回る。



問 22-2 で「1.できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に をつけた方にうかがいます。

問 22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

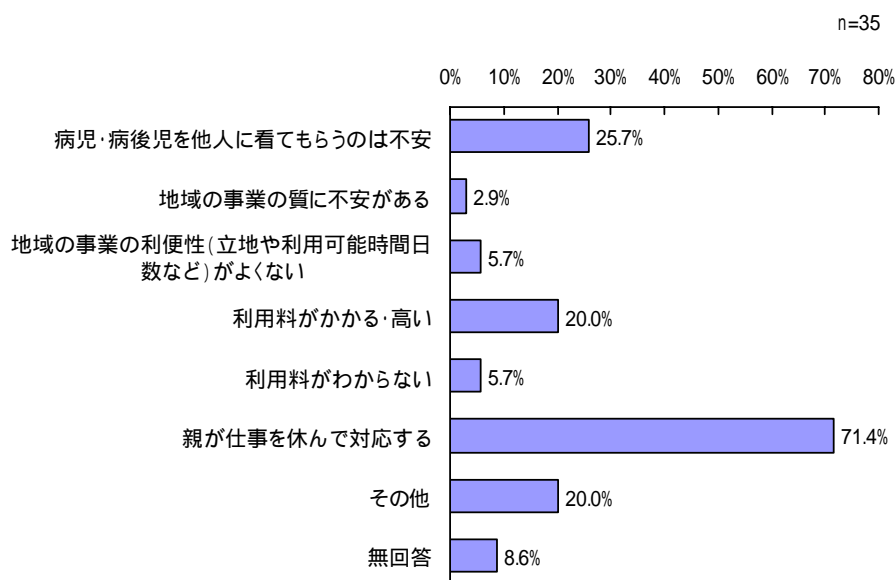
「できれば病時・病後児保育施設等を利用したい」とした人に、望ましい事業形態を聞いたところ、「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」96.0%、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」64.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」はわずか4.0%である。



問 22-2 で「2.利用したいと思わない」に をつけた方に伺います。

問 22-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに をつけてください。

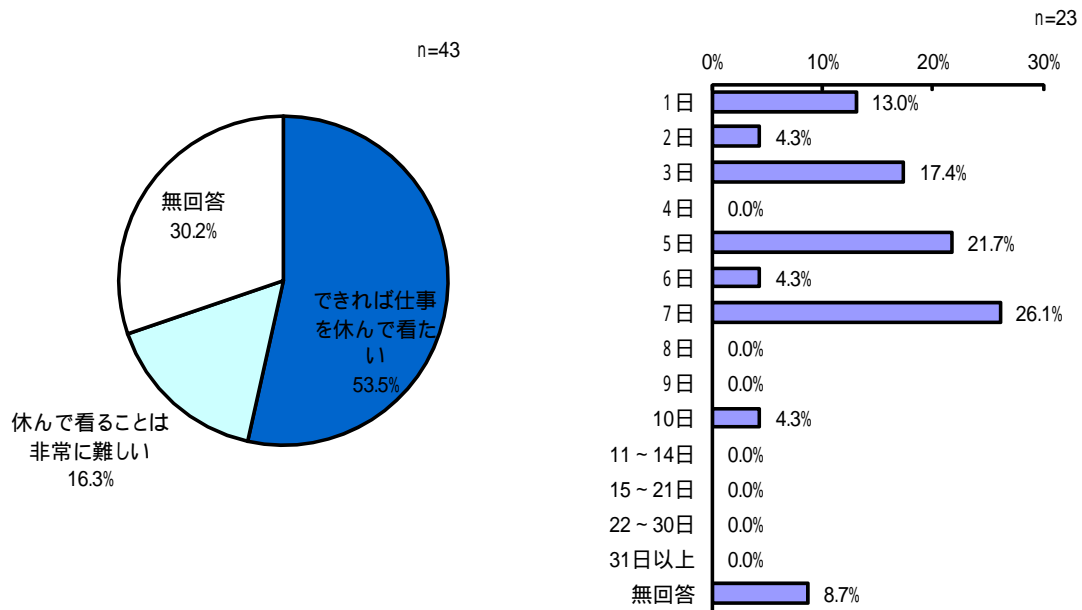
病時・病後児のための保育施設等を「利用したいと思わない」とした人に、その理由聞いたところ、「親が仕事を休んで対応する」71.4%、「病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安」25.7%、「利用料がかかる・高い」及び「その他」20.0%などである。



問 22-1 で「エ」から「ケ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに をつけ、「エ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください(数字は一桁に一字)。

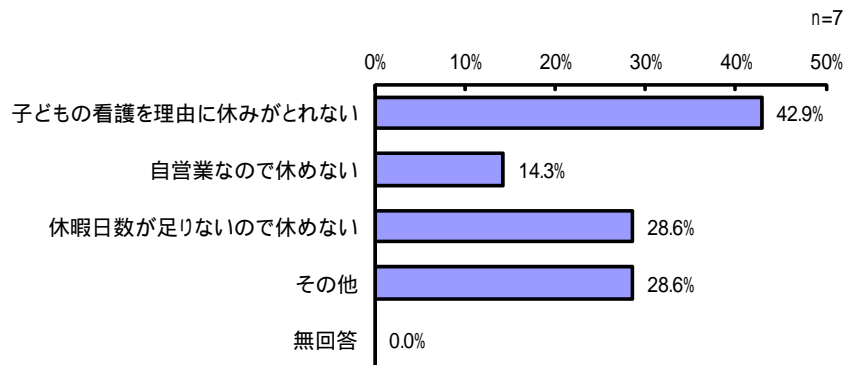
「できれば仕事を休んで看たい」が 53.5%と半数を超える。日数としては、「7日」「5日」「3日」「1日」などの順である。また、「休んで看ることは非常に難しい」は 16.3%である。



問 22-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に をつけた方にうかがいます。

問 22-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに をつけてください。

「休んで看ることは非常に難しい」とした人に、その理由を聞いたところ「子どもの看護を理由に休みがとれない」42.9%、「休暇日数が足りないので休めない」及び「その他」28.6%、「自営業なので休めない」14.3%である。



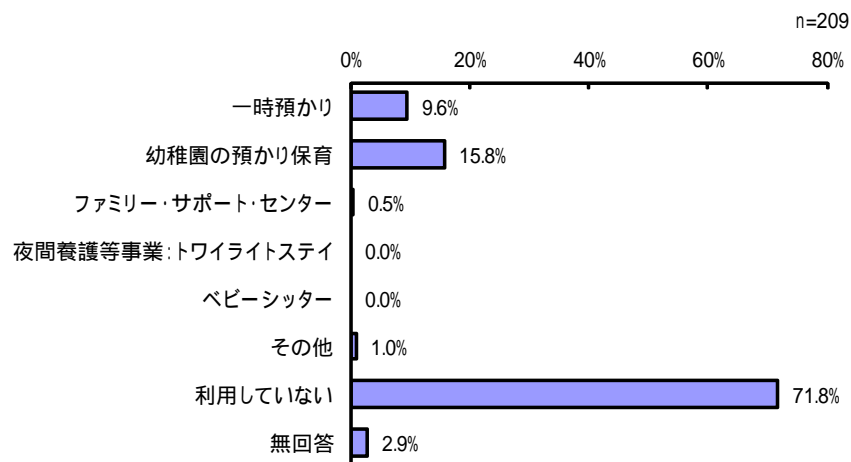


## 8 . 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も（ ）内に数字でご記入ください。

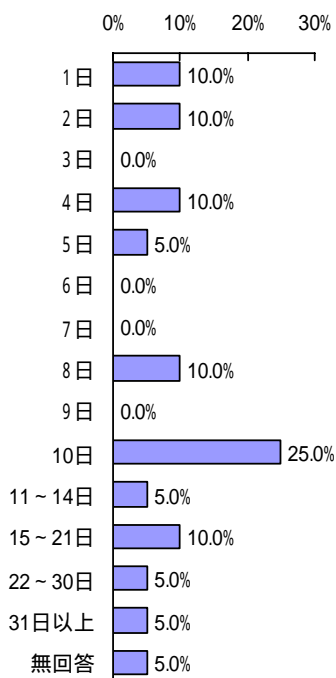
不特定の利用事業は、「幼稚園の預かり保育」15.8%、「一時預かり」9.6%、「ファミリーサポート・センター」0.5%であり、「利用していない」が71.8%である。

1年間の利用日数は、「一時預かり」は「10日」が最も多く、「1日」「2日」「4日」「8日」「15～21日」が同率である。「幼稚園の預かり保育」は、「10日」「15～21日」「11～14日」及び「22～30日」の順である。



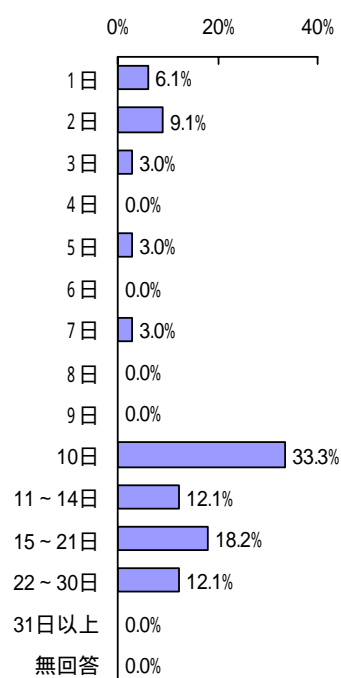
1. 一時預かり

n=20



2. 幼稚園の預かり保育

n=33

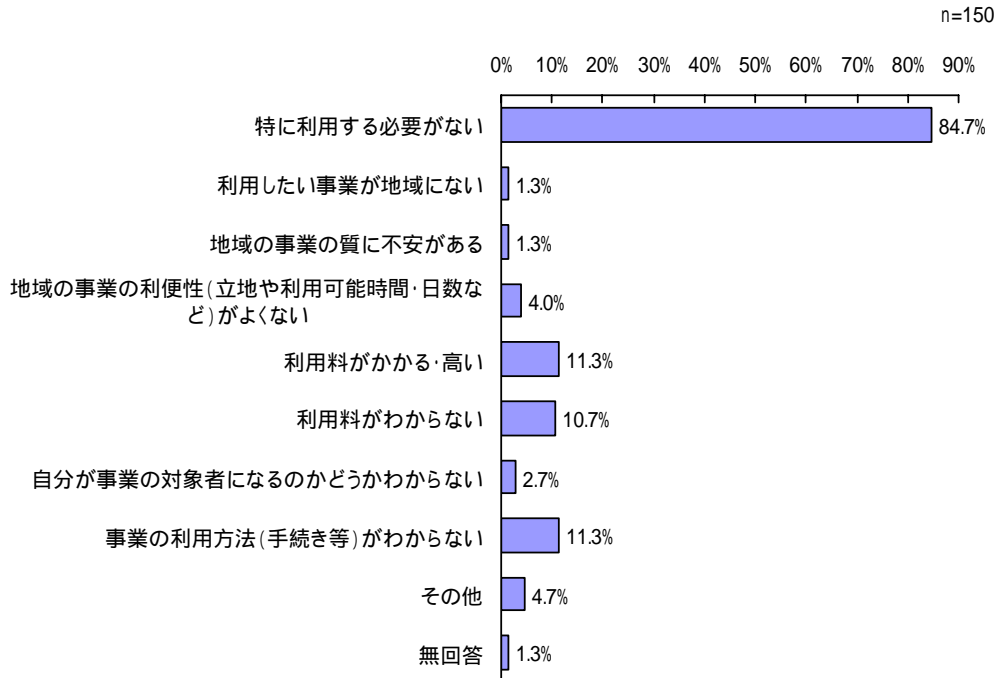


「夜間養護等事業」「ベビーシッター」は回答者0人、「ファミリーサポート・センター」「その他」は回答者1～2人のため、グラフを省略。

問 23 で「7.利用していない」に をつけた方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

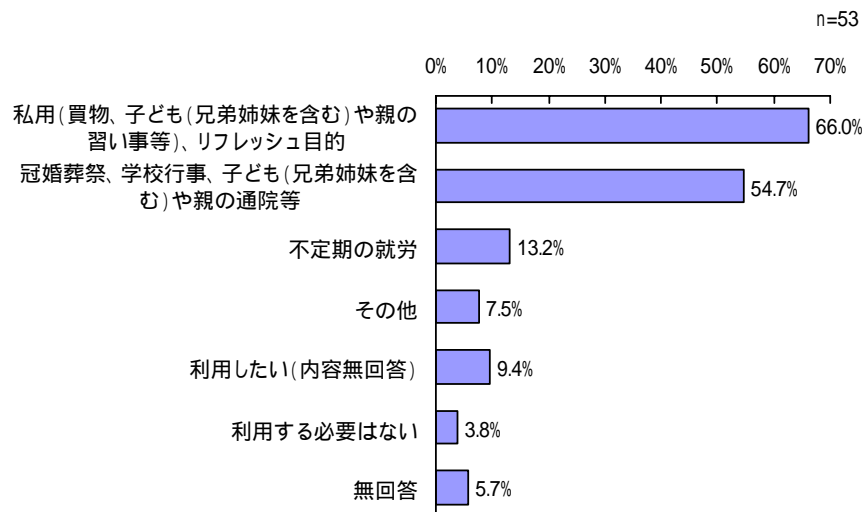
現在利用していない理由は、「特に利用する必要がない」84.7%が最も多い。「利用料がかかる・高い」「事業の利用方法がわからない」11.3%、「利用料がわからない」10.7%などである。



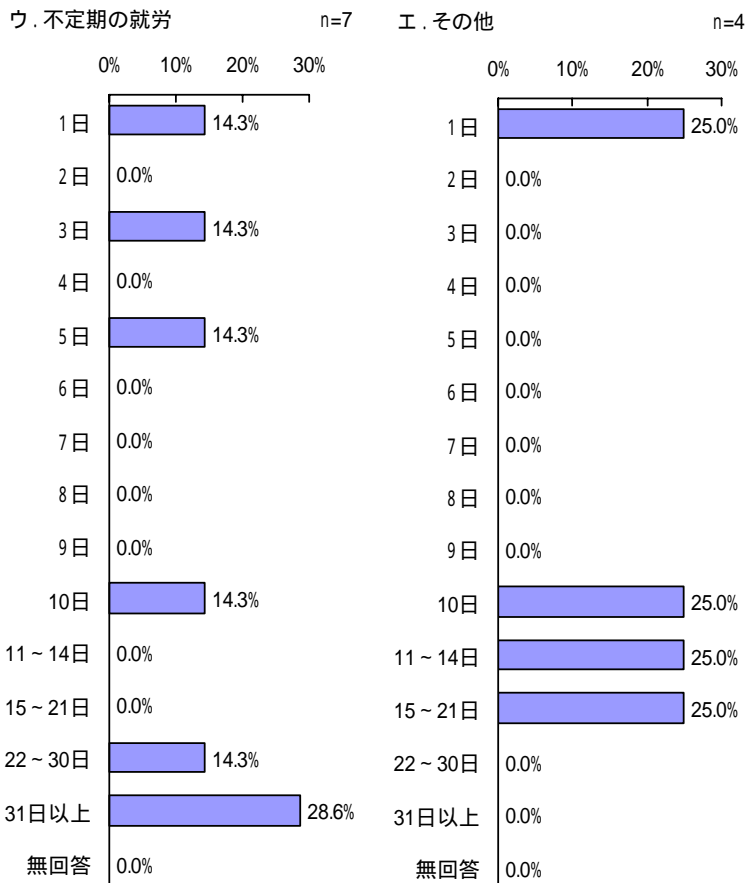
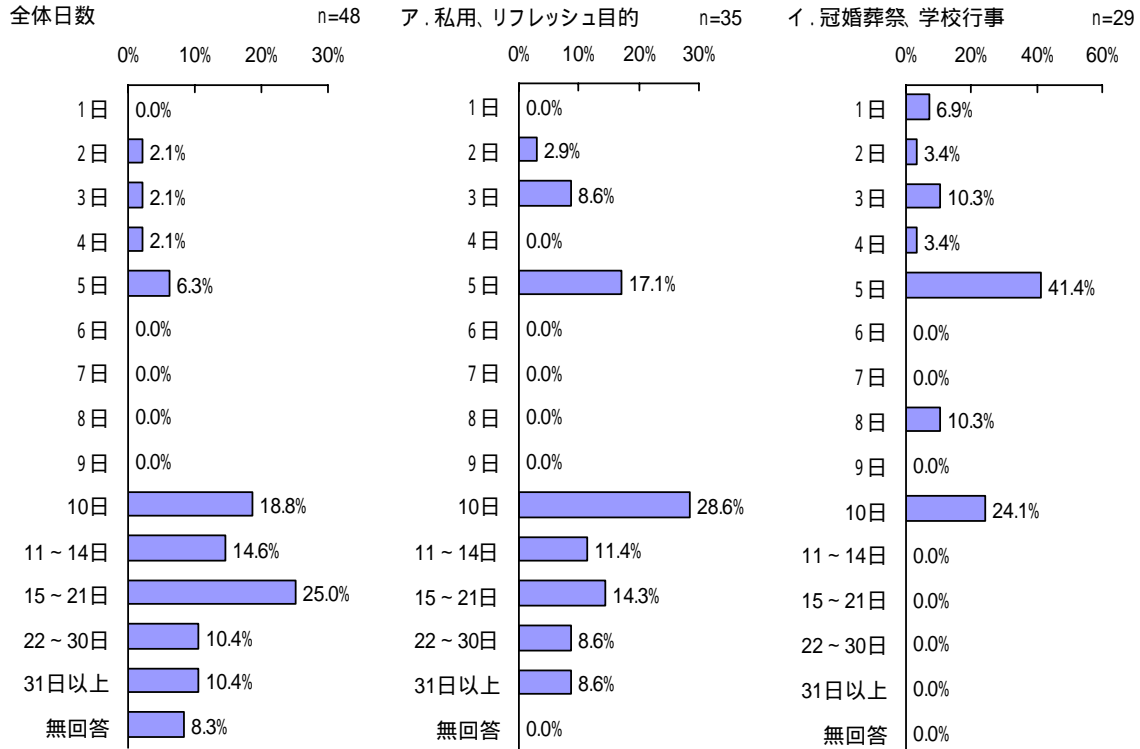
問 23 で「1」から「6」のいずれかに をつけた方にうかがいます。

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに をつけ、必要な日数をご記入ください(利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を( )内に数字でご記入ください。

利用意向については、「私用や親のリフレッシュ目的」が 66.0%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」54.7%が主なものである。



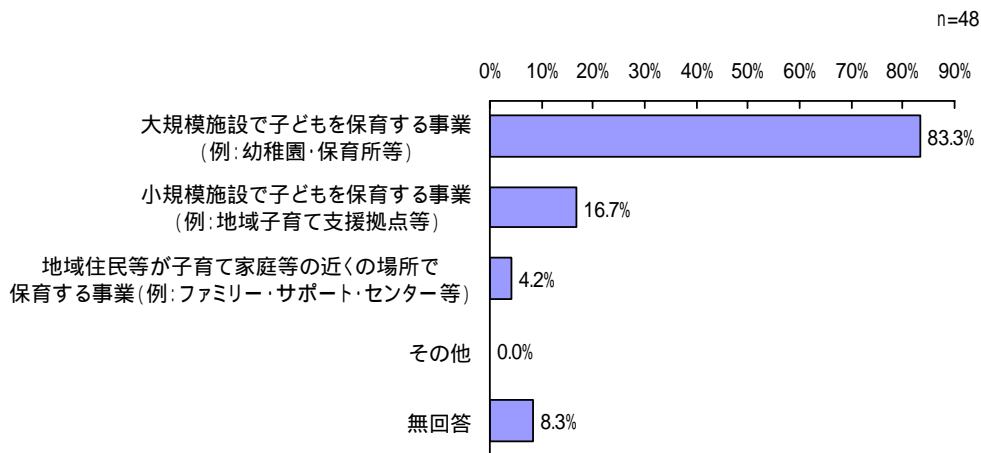
利用したい全体日数は、「15～21日」25.0%、「10日」は18.8%、「11～14日」14.6%などである。「私用や親のリフレッシュ目的」は「10日」、「15～21日」などである。「冠婚葬祭、学校行事」は「5日」「10日」などである。「不定期の就労」は「31日以上」、次いで「1日」「3日」「5日」「10日」「22～30日」がいずれも同率である。



問 24 で「1.利用したい」に をつけた方にうかがいます。

問 24-1 問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われる  
 ですか。当てはまる番号すべてに をつけてください。

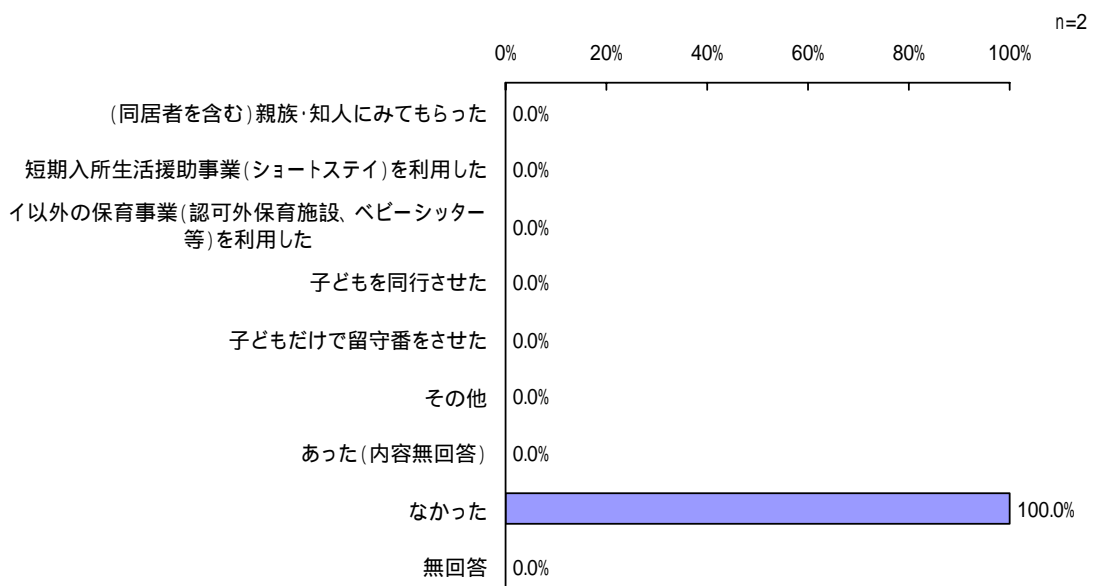
私用、親の通院、不定期就労等の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、「大規模施設で子どもを保育する事業」が 83.3%、「小規模施設で子どもを保育する事業」16.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」4.2%である。



問 24 で「2. 利用する必要はない」に をつけた方にうかがいます。

問 25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子  
 さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が  
 見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この1年間の対処方法として当ては  
 まる番号と記号すべてに をつけ、それぞれの日数も( )内に数字でご記入ください。

用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことについて  
 は、回答者は2人、「あった」はゼロである。(そのため、問 25-1 は回答者なし。)

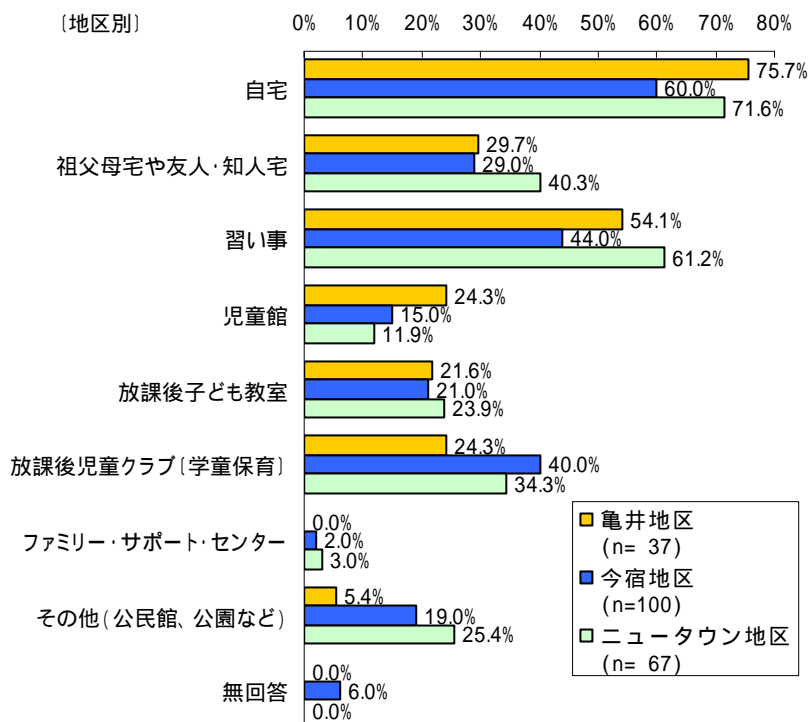
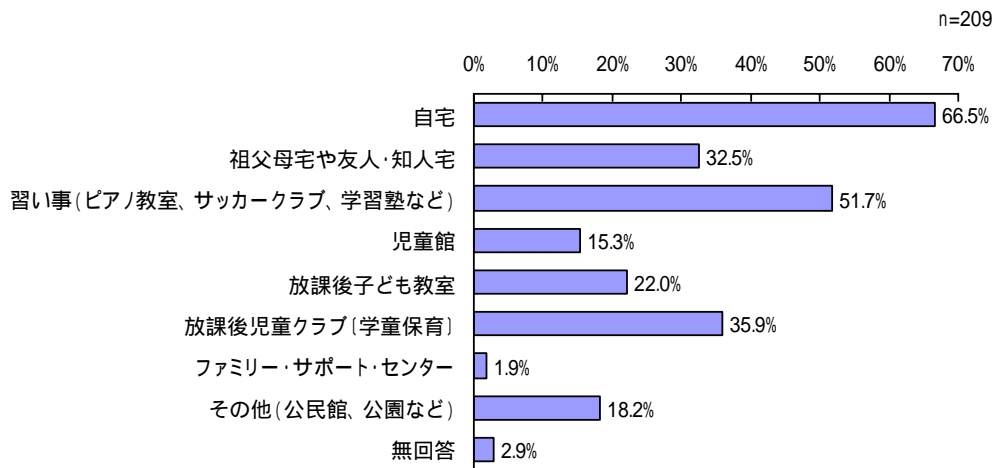


## 9 . 小学校就学後の放課後の過ごし方について

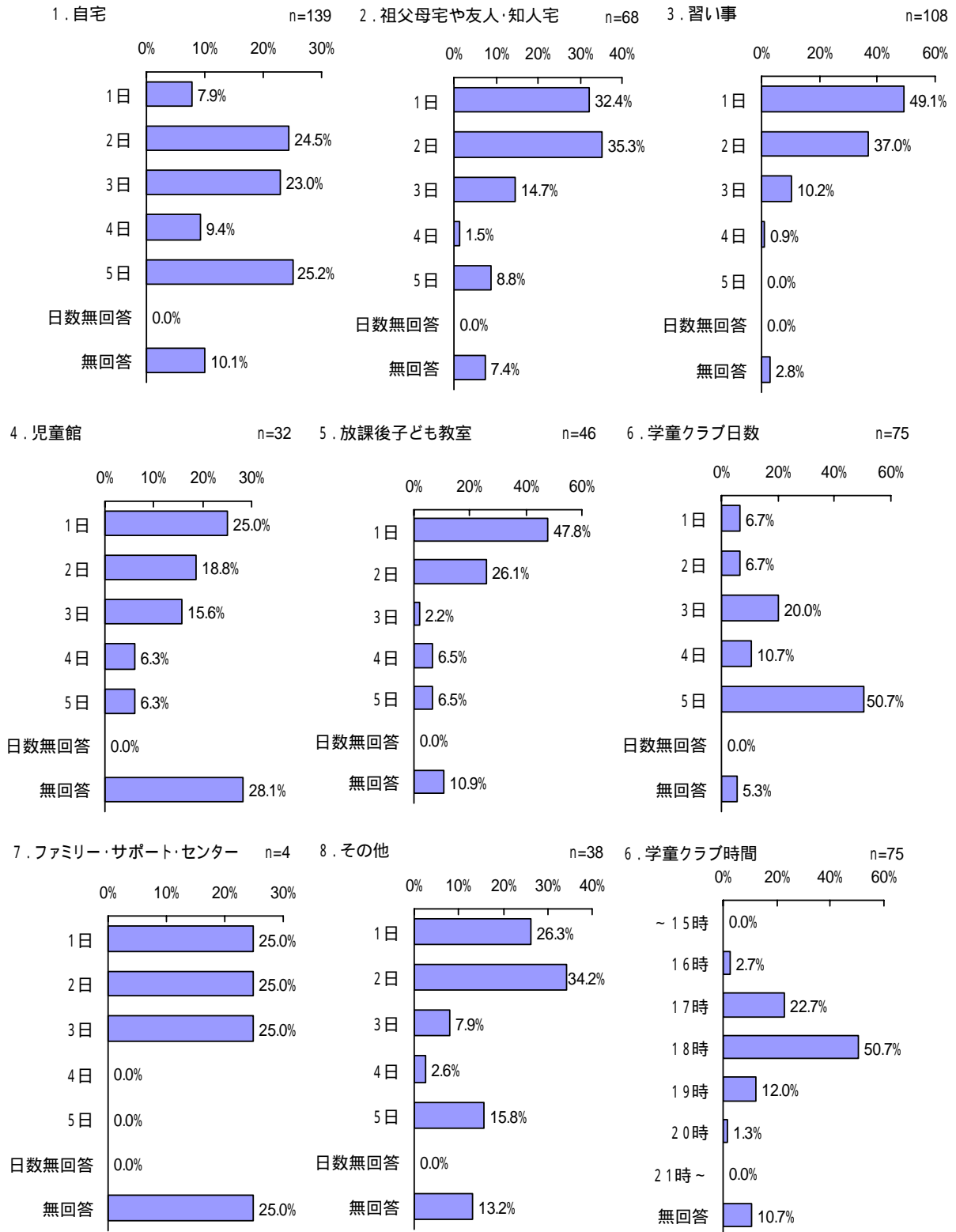
問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてにつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時刻は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

小学校低学年のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「自宅」66.5%、次いで「習い事」は51.7%、「放課後児童クラブ」35.9%、「祖父母や友人・知人宅」32.5%などである。

地区でみると「自宅」は今宿地区が60.0%と他の地区を下回る分、「放課後児童クラブ」が40.0%と他の地区を上回る。また「習い事」や「祖父母宅や友人・知人宅」はニュータウン地区に多い。



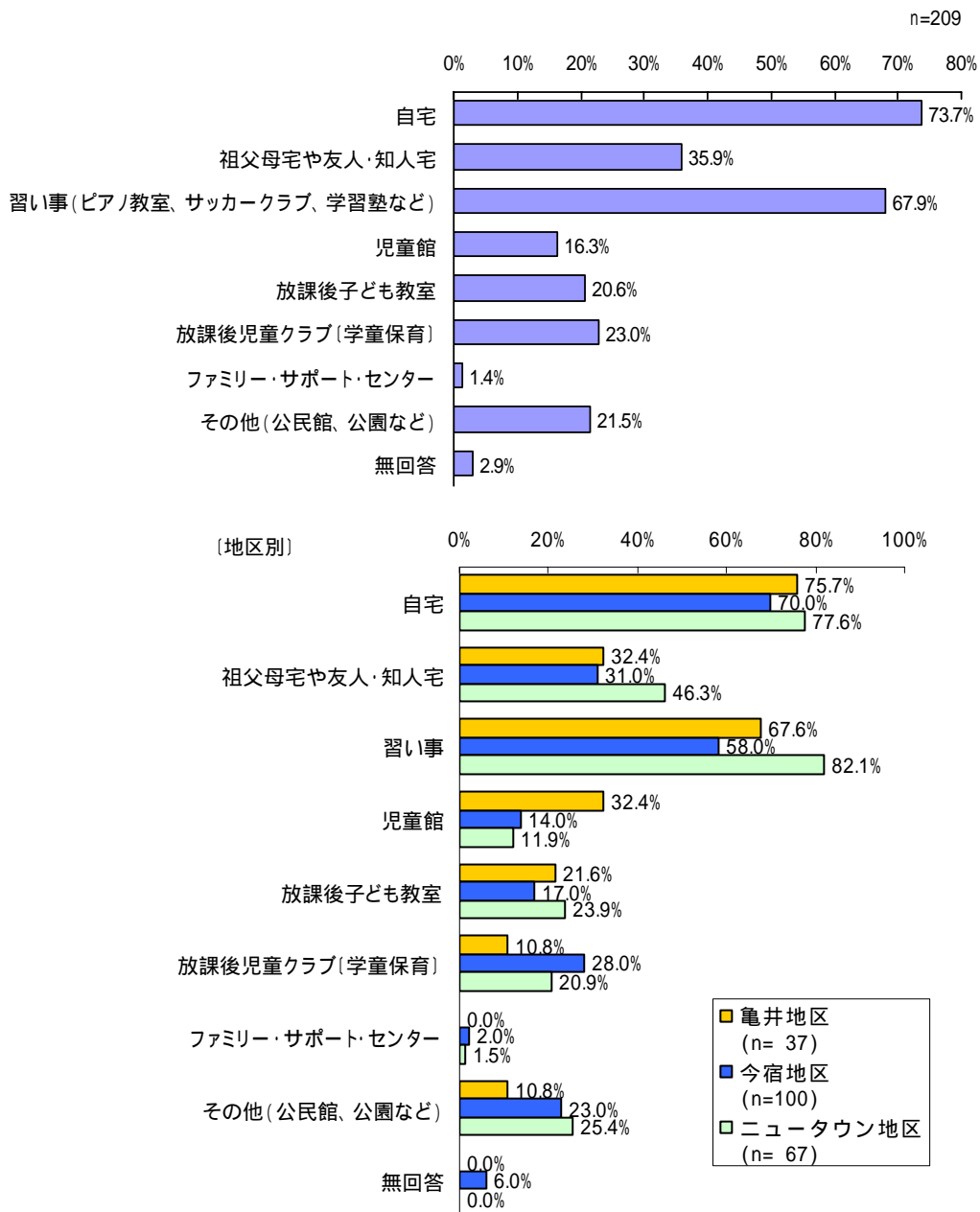
希望する週当たりの日数は、「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」「児童館」「放課後子ども教室」は「1日」「2日」が比較的多い。これらに対し、「放課後児童クラブ（学童保育）」は「5日」を半数の人があげている。「学童クラブ」については、希望の利用終了時刻を聞いているが、「18時」が最も多く、次いで「17時」「19時」の順である。



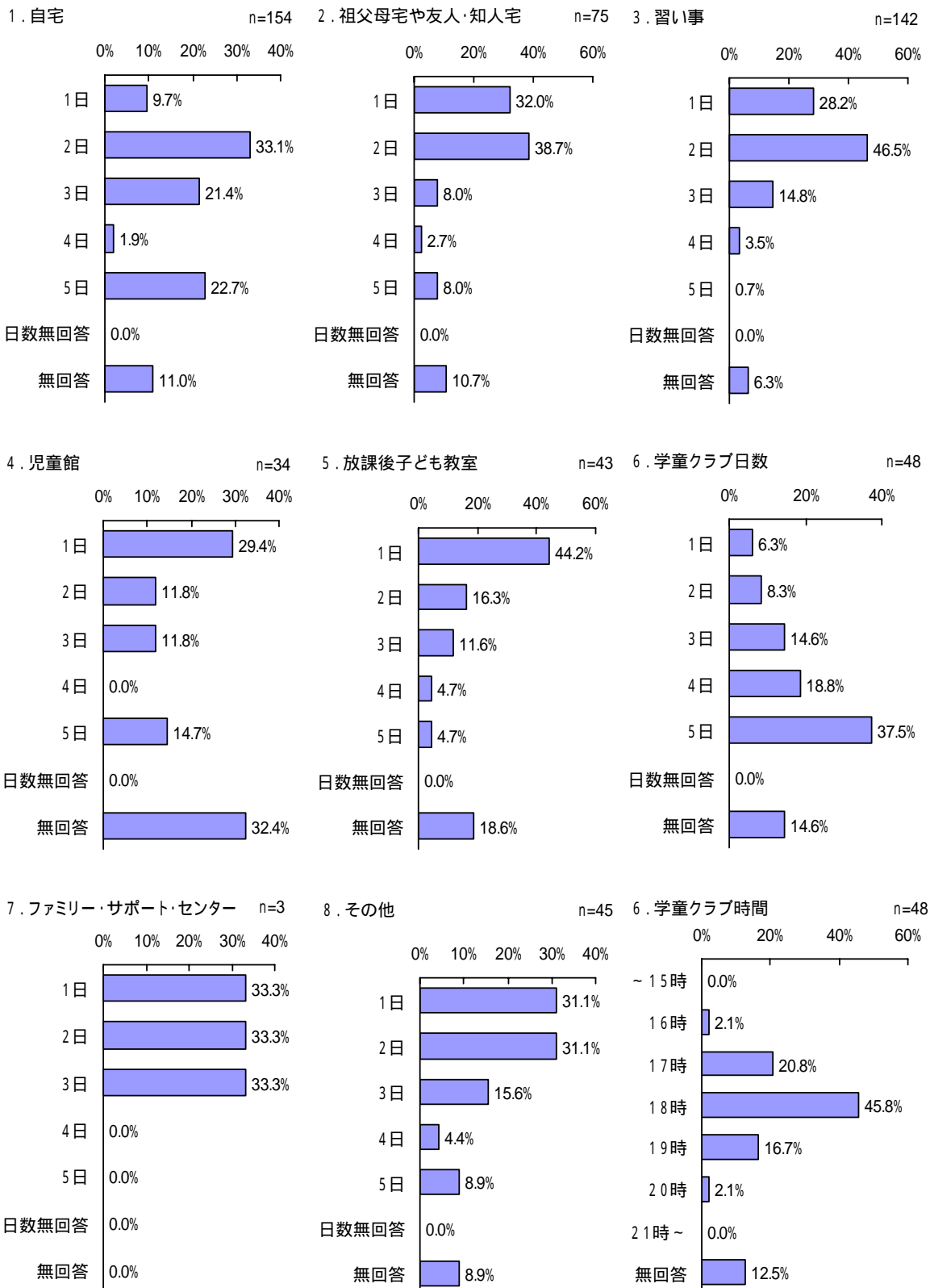
問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も（ ）内に数字でご記入ください。時刻は、必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください。

小学校高学年になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいかについては、「自宅」73.7%、次いで「習い事」67.9%、「祖父母や友人・知人宅」35.9%、「放課後児童クラブ」23.0%、「放課後子ども教室」20.6%、「児童館」16.3%などである。

地区別にみると低学年とほぼ共通している。



希望する週当たりの日数は、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」「習い事」は「2日」が最も多く、「児童館」「放課後子ども教室」は「1日」が最も多い。「学童クラブ」は「5日」が37.5%と最も多い。「学童クラブ」については、希望の利用終了時刻を聞いているが、「18時」45.8%、「17時」20.8%、「19時」16.7%の順である。





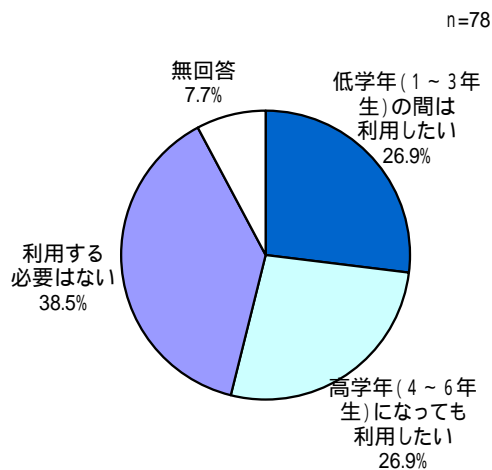
問 26 または問 27 で「6 . 放課後児童クラブ(学童保育)」に をつけた方にうかがいます。

問 28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに をつけてください。また利用したい時間帯を、( )内に(例) 9時~18時 のように24時間制でご記入ください。

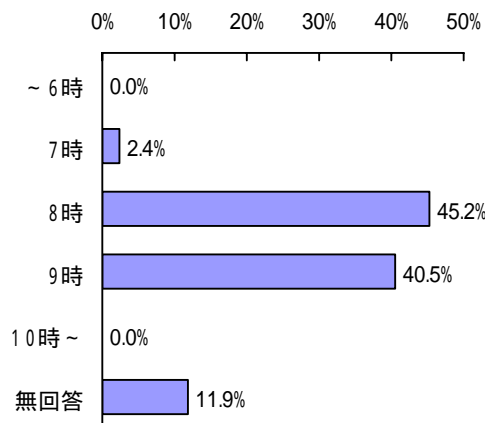
放課後児童クラブについて、土曜日と日曜日・祝日の利用希望について聞いた。

土曜日については、「利用する必要はない」が38.5%で最も多く、「低学年の間は利用したい」及び「高学年になっても利用したい」はいずれも26.9%である。利用したい時間帯は、開始時刻は「8時」「9時」、終了時刻は「18時」「19時」などである。

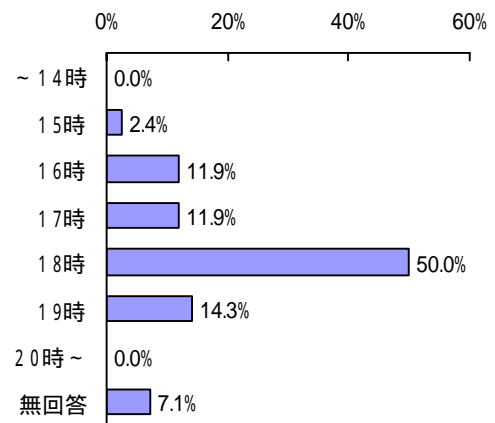
土曜日の利用希望



(1)開始時刻 n=42



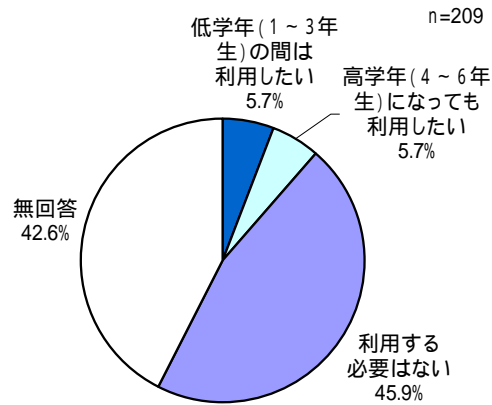
(1)終了時刻 n=42



日曜日・祝日では、「利用する必要はない」が45.9%、「低学年の間は利用したい」及び「高学年になっても利用したい」はいずれも5.7%である。

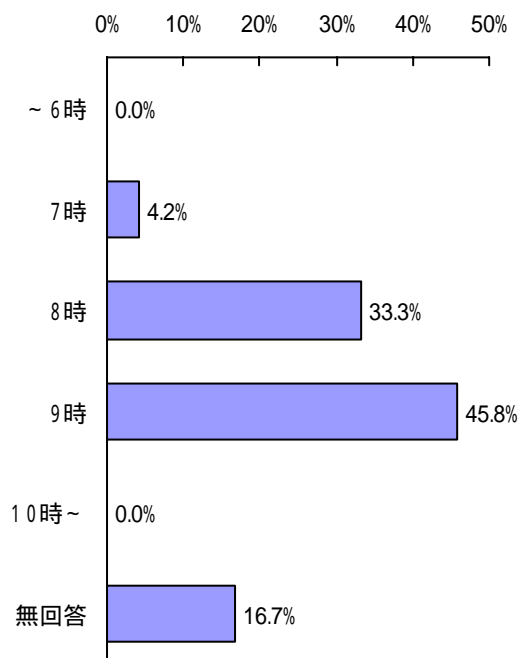
利用したい時間帯は、開始時刻が「9時」「8時」、終了時刻は「18時」「16時」及び「19時」などである。

### 日曜日・祝日の利用希望



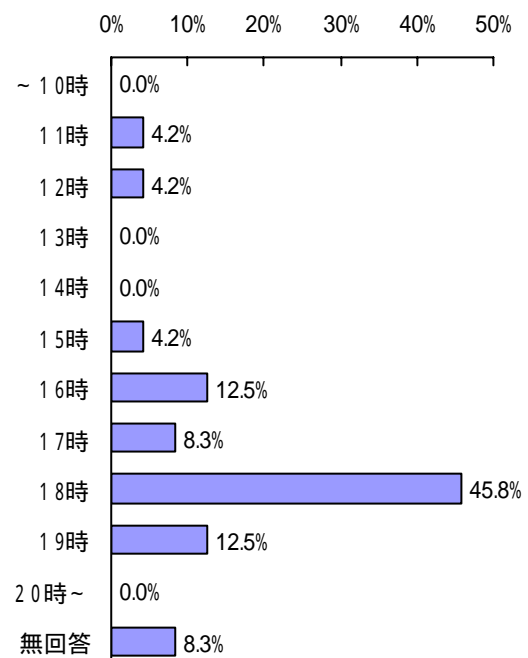
### (2) 開始時刻

n=24



### (2) 終了時刻

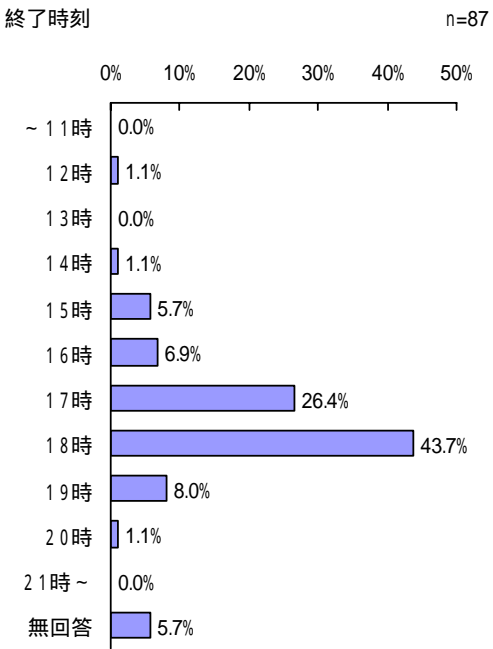
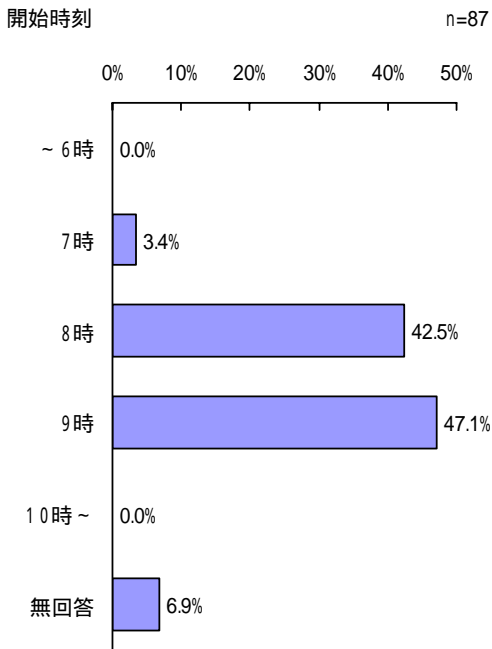
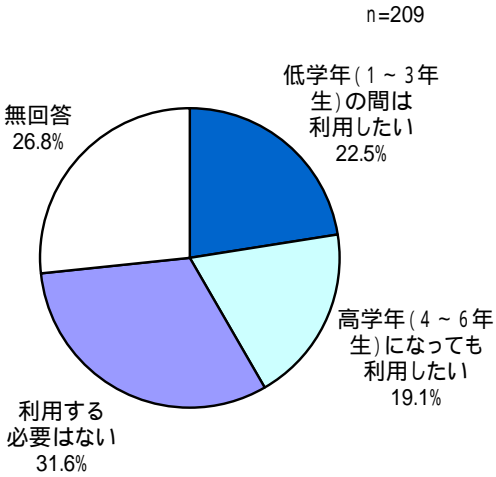
n=24



**問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに をつけてください。また利用したい時間帯を、( )内に(例)9時～18時 のように24時間制でご記入ください。**

夏休み・冬休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、「利用する必要はない」31.6%、「低学年の間は利用したい」22.5%、「高学年になっても利用したい」19.1%である。

利用したい時間帯は、開始時刻は「9時」「8時」、終了時刻は「18時」「17時」などである。

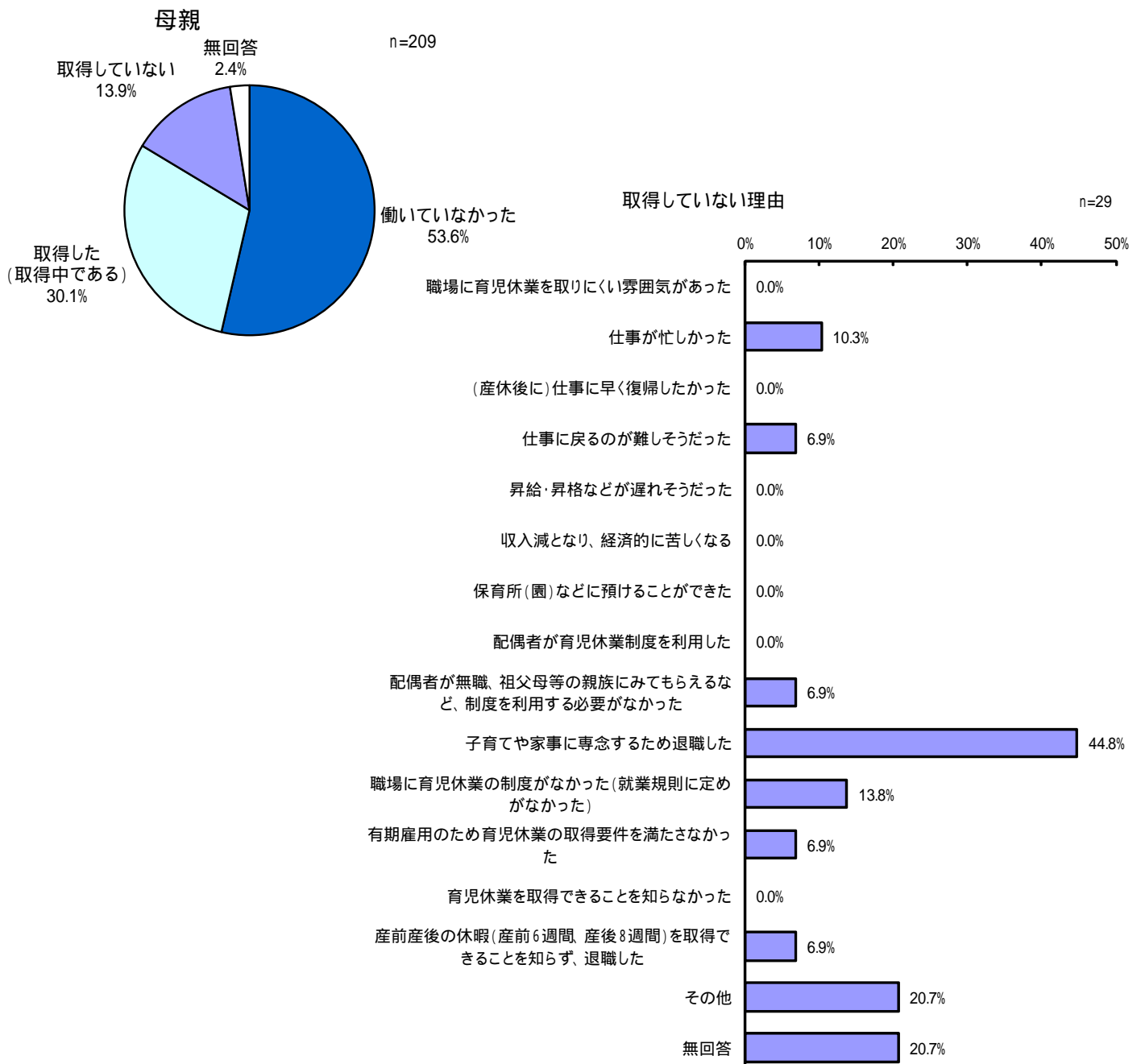


## 10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

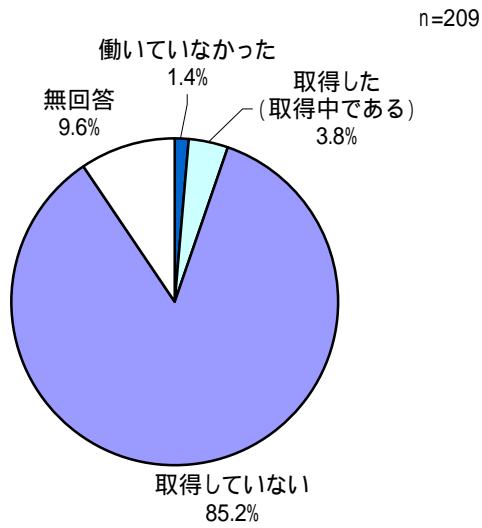
問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに をつけ、該当する( )内に数字をご記入ください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

父母いずれかもしくは双方が育児休業を取得したかについて聞いた。母親は、「働いていなかった」53.6%、「取得した」30.1%、「取得していない」13.9%に対し、父親は「取得していない」85.2%、「取得した」3.8%、「働いていなかった」1.4%である。

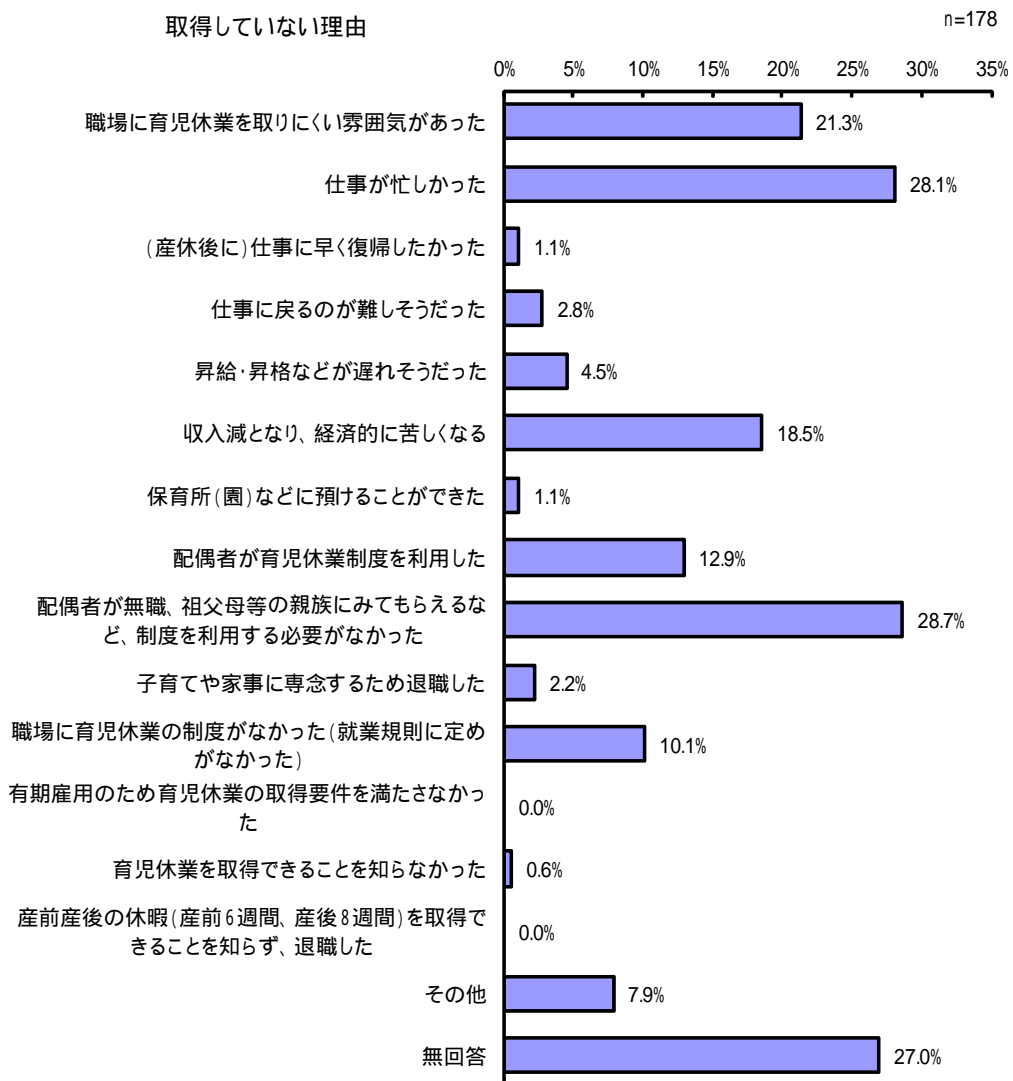
「取得していない」理由は、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」10.3%などである。父親は、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」28.7%、「仕事が忙しかった」28.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」21.3%などである。



# 父親

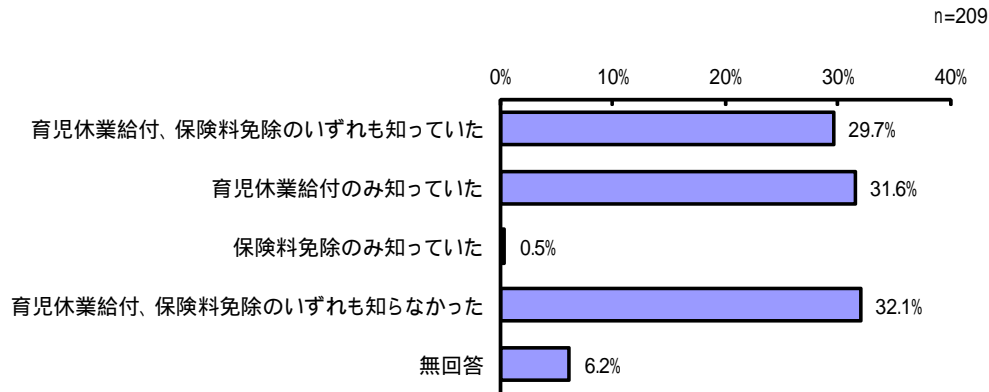


## 取得していない理由



**問 30-1 子どもが原則 1 歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 月)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。**

保険料免除の仕組みを知っていたかについては、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は 32.1%、「育児休業給付のみ知っていた」31.8%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」29.7%、「保険料免除のみ知っていた」はわずか 0.5%である。



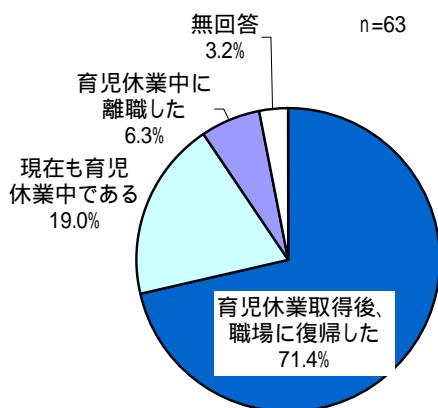
**問 30 で「2. 取得した(取得中である)」に をつけた方にかがいます。該当しない方は、問 31 へお進みください。**

**問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに をつけてください。**

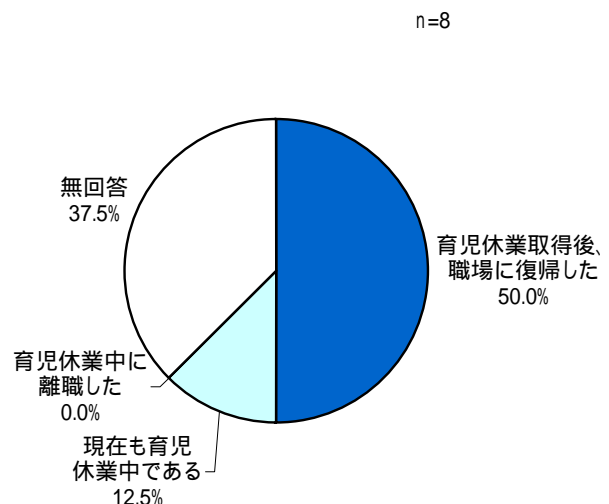
育児休業取得後、職場に復帰したかどうかについては、母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」71.4%、「現在も育児休業中である」19.0%、「育児休業中に離職した」6.3%である。

父親は「育児休業取得後、職場に復帰した」は 50.0%、「現在も育児休業中である」12.5%である。

(1) 母親



(2) 父親

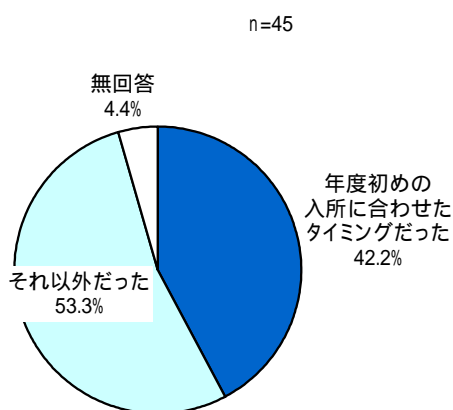


問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に をつけた方にうかがいます。

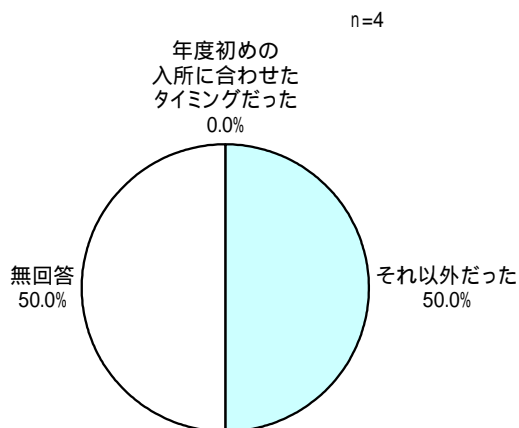
問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに をつけてください。年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

育児休業取得後、「職場に復帰した」とした人の時期について聞いた。父親の回答者は4人のみであるため、母親についてのみみる。「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は42.2%、「それ以外のタイミングだった」は53.3%である。

(1) 母親



(2) 父親

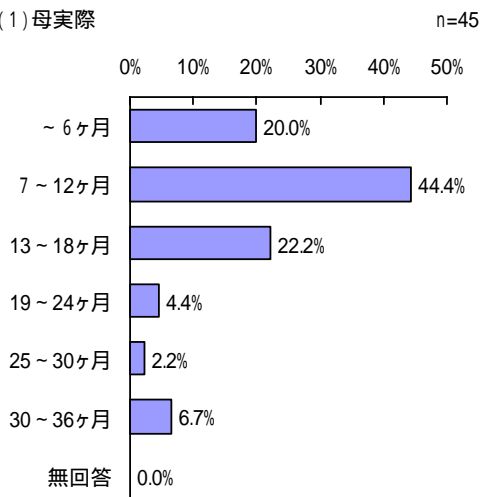


問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に をつけた方にうかがいます。

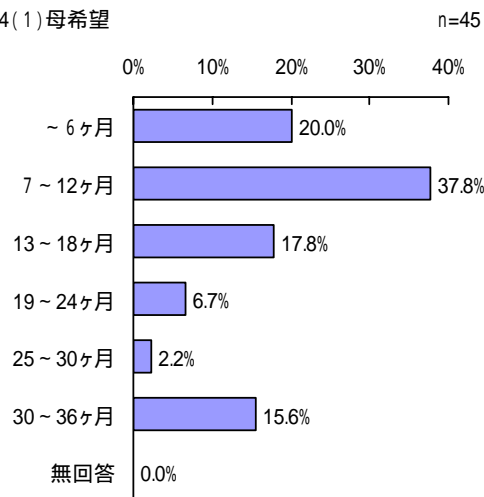
問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。( ) 内に数字でご記入ください。

「職場に復帰した」実際と希望の期間について聞いた。母親の取得期間は、「7～12ヶ月」44.4%、「13～18ヶ月」22.2%、「～6ヶ月」20.0%の順であり、希望についても「7～12ヶ月」37.8%、「～6ヶ月」20.0%、「13～18ヶ月」17.8%、の順であり、次に「30～36ヶ月」15.6%となっている。父親の回答者は4人のみであるが、実際、希望とも「～6ヶ月」が各100.0%、75.0%と最も多い。

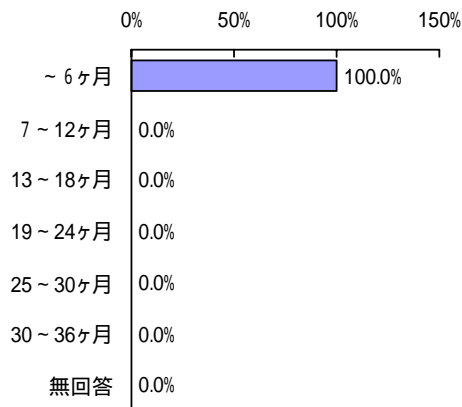
(1) 母実際



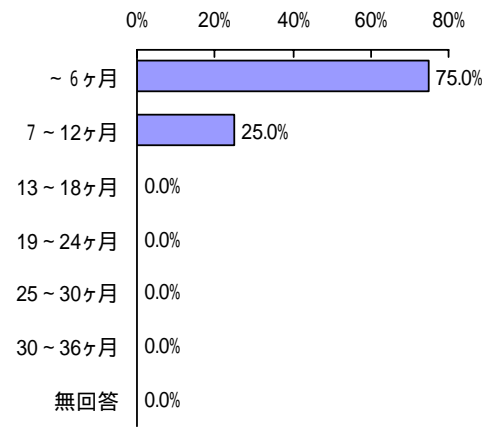
4(1) 母希望



(2)父実際 n=4



(2)父希望 n=4

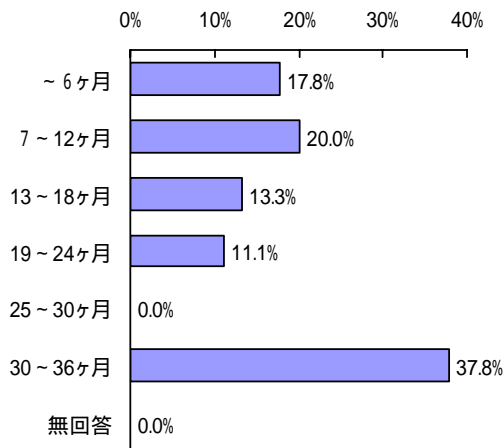


問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に つけた方にうかがいます。

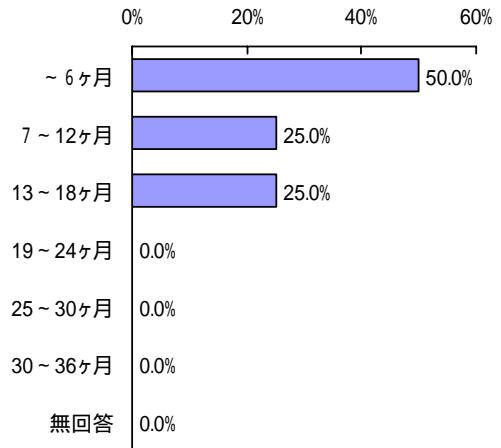
問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。( )内に数字でご記入ください。

育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望は、母親は「30～36ヶ月」が最も多く37.8%、次いで「7～12ヶ月」20.0%、「～6ヶ月」17.8%の順である。父親は「50.0%」「7～12ヶ月」「13～18ヶ月」25.0%である。

(1)母希望 n=45



(1)父希望 n=4





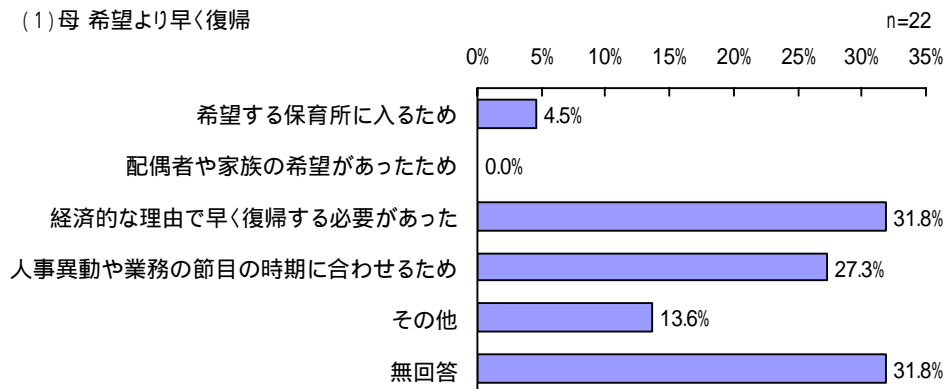
### 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

#### 問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

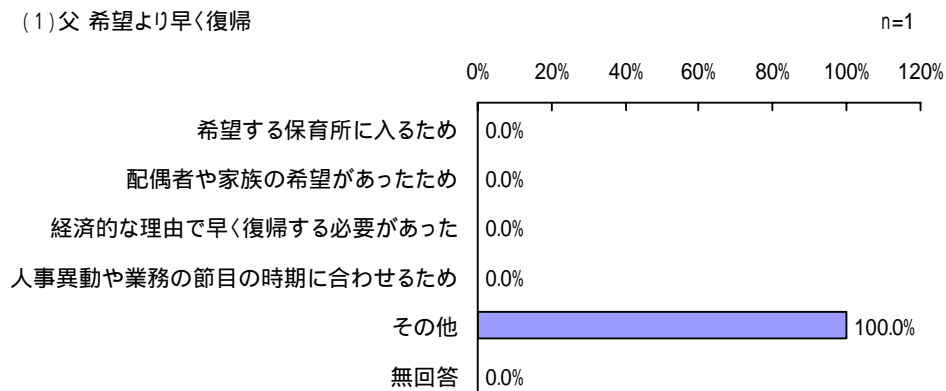
希望の時期に復帰しなかった理由について、「希望」より早く復帰した母親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」31.8%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」27.3%で6割近くを占める。父親の回答者は1人であるため、母親についてのみみる。

これに対し「希望」より遅く復帰した母親の回答は「その他」1人を除き、無回答となっている。

(1)母 希望より早く復帰



(1)父 希望より早く復帰



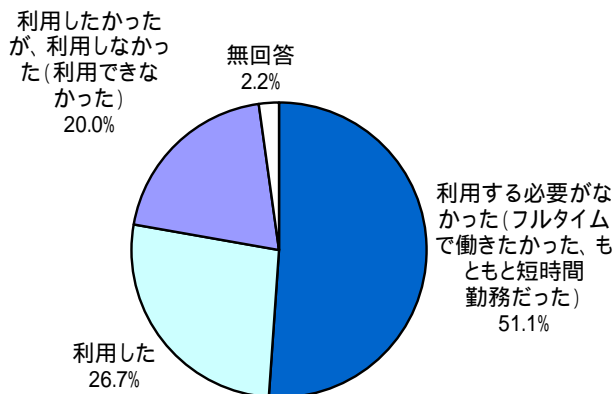
問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に つけた方にかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに つけてください。

職場復帰時に、短時間勤務制度を利用したかについては、母親は「利用する必要がなかった」が約半数の 51.1%、「利用した」26.7%、「利用したかったが、利用しなかった」20.0% である。父親の回答者は 4 人であるが、「利用する必要がなかった」50.0%である。

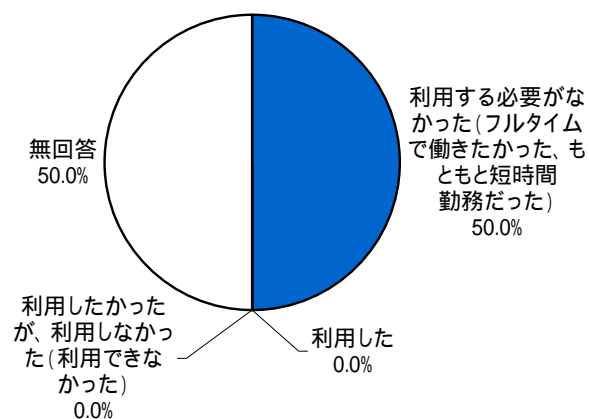
(1)母親

n=45



(2)父親

n=4



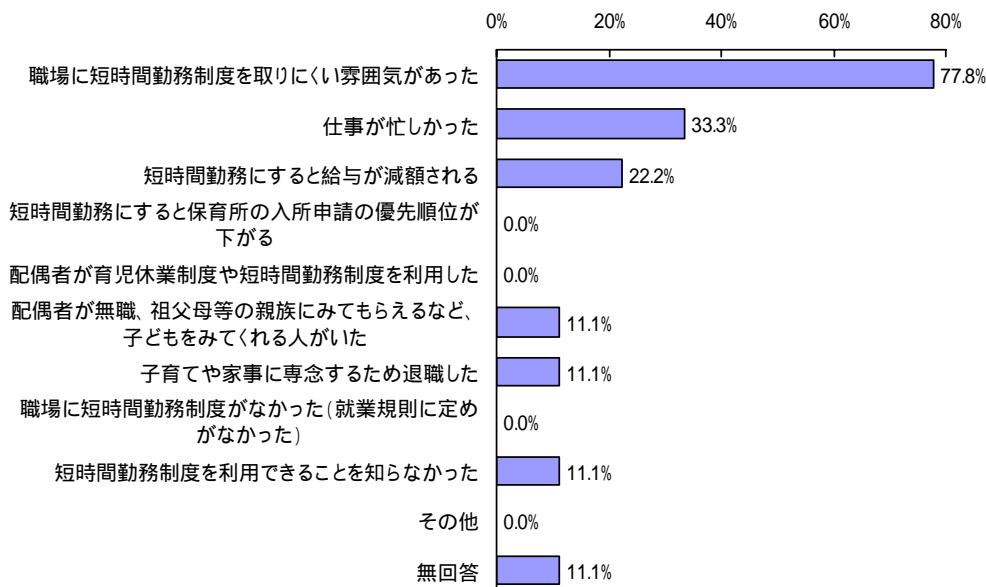
問 30-7 で「3.利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」に つけた方にかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに つけてください。

短時間勤務制度を「利用しなかった」理由は、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 77.8%と約 8 割である。次いで「仕事が忙しかった」33.3%、「短時間勤務にすると給与が減額される」22.2%などである。

(1)母親

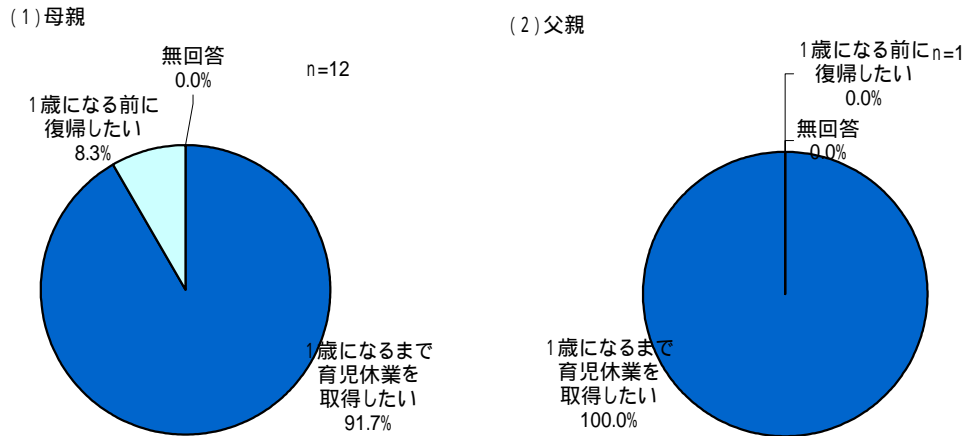
n=9



問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」に つけた方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに つけてください。

「現在も育児休業中である」人に、子どもが1歳になるまでの育児休業取得の希望を聞いた。母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が91.7%である。父親の回答者は1人のみである。

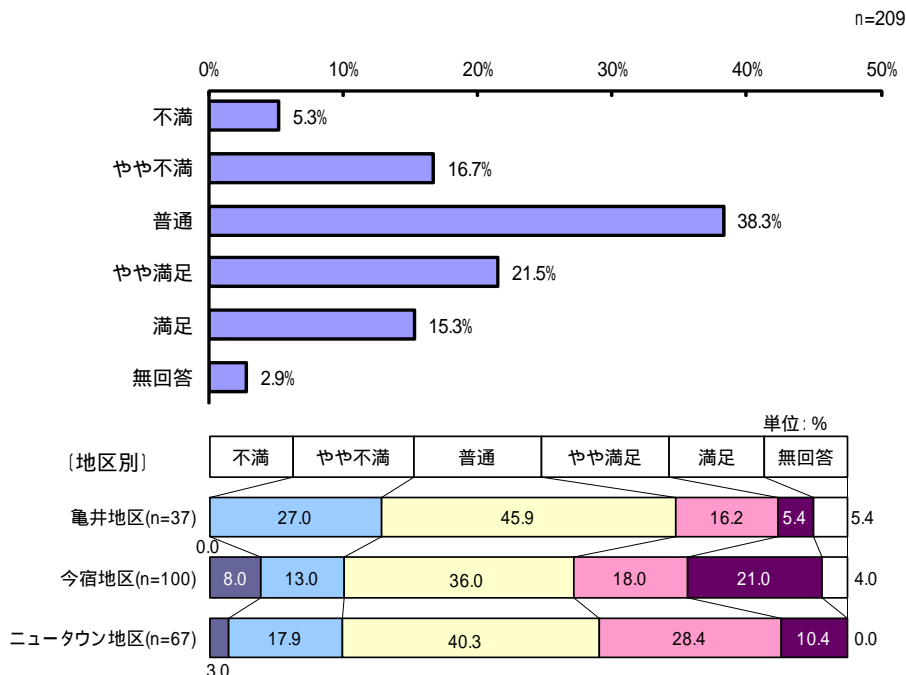


問 31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに つけてください。

子育ての環境や支援への満足度について聞いた。「普通」が38.3%、次いで「やや満足」が21.5%、「やや不満」が16.7%、「満足」が15.3%、「不満」5.3%の順となっている。

「満足」と「やや満足」を合わせや『満足』は36.8%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』が22.0%となっている。

地区別では『満足』は今宿地区39.0%とニュータウン地区38.8%では同程度であるが、亀井地区は21.6%とやや低い。一方で、『不満』はいずれの地区も2割台となっているものの、亀井地区のみ「不満」との回答はゼロである。



**問 32 本町が行っている子育て支援の情報提供について何を望みますか。**

主な意見の抜粋

〔わかりやすい情報提供〕

- ・もっと分かりやすく誰が見てもわかるように情報提供してもらいたい。
- ・行事予定や子育てに使用できる集まり（ぽっぽ等）が、誰が見ても一目で分かるようにしてもらいたい。何が使用できて、お金がかかって場所がどこなのか、時間は？何歳まで使用できるか等、よく分からず使用する事が出来ません。
- ・町の広報紙とは別に冊子を作っては。広報紙の紙面では情報を探しにくい。
- ・日時、場所だけでなく、内容が分かりやすいといい。

〔メールやホームページを活用した情報提供〕

- ・どこでどの様な支援を行っているのか希望者にメールで提供して欲しいです。メールマガジンのようなものが良いと思います。
- ・広報だけでなく、インターネットでの催しのお知らせをこまめに更新してもらえると、もっと気軽に調べることが出来て、興味のあるものに参加できる機会が増えると思います。

〔定期的・積極的な情報提供〕

- ・外に出ないと情報が入ってこないの定期的、お知らせが郵送されるといいと思う。  
（町内のアパートに移住していた時広報は入ってこなかったの、どんな支援があるのか分からなかった。）
- ・情報提供の実態を知りません。いろんな方面から文章ばかりでなく、会話など知りたいです。
- ・情報案内等は各家庭に配布して欲しい。
- ・出来るだけ、情報を早く知りたい。町だけでなく、周辺地域の情報も欲しい。

〔その他の情報提供〕

- ・広報だけでなく、色々と情報を得られる場があればイベントに参加して交流の場を拡げていきたいです。行ったことのない人が行きやすいお知らせを得られると気軽に参加してみたいなと思います。
- ・習い事など、町内会でどんなものがあるのかをもっと知らせる場所が欲しい。

問 33 最後に、満足度をアップさせるために、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関して充実して欲しいことは何ですか。ご自由にご記入ください。

主な意見の抜粋

〔公園や子どもの遊び場の充実〕

- ・児童館の建築。森の公園を作り、プレイパークの様に、子どもが自然に多く触れ、楽しめる遊び場作りをして欲しい。整備された公園ではなく自主的に遊べる環境。農業体験、子どもが元気を出して欲しい。親子ともワクワクするような企画、施設を作ってほしい。鳩山町は自然が沢山あるのに子供達の元気が少ない気がします。
- ・泉井にも公園を作って欲しい。亀井小に子どもが増えるよう、住宅をたくさん作ってください。
- ・小学生が雨の日に遊ぶ場所が無い為、児童館を作って欲しい。
- ・学童以外で、放課後に学校で遊んだり宿題をする場を作って欲しい。
- ・今年鳩山に引越してきました。今迄住んでいた所と同じく、毎日公園へ行ってもすぐにお友達が出来るものと思っていましたが、どこの公園も古く、暗くて誰とも出会った事はありません。子供も楽しくないので、すぐに帰りたがります。ひばり支援センターは実質週一回しか行けませんし、ぼっぼも少し大きくなると毎日行くには少しものたりないです。どこかに少し大きくて子供達にとって魅力的な公園がひとつだけでもあったらな...と思います。皆さん車移動が主なので、駐車場もあれば来易いと思いますが、鳩山の人たちは公園遊び自体あまりしないものなのではないでしょうか？せめてぼっぼの外辺りにいくつか外遊びできる遊具があったらな...と思ってしまいます。いつも外遊びに苦労しています。町外へも足を運んでいます、町内のいつも決まったお友達が欲しいなと思います。

〔保育サービスの充実〕

- ・預かり保育（幼稚園）の時間をもう少し長くしてほしいと思います。
- ・学童保育、主に保護者が運営している為親の負担が大きい。会議なども土日や夜間にあり、子供もそれに付き合う形になっている。また、指導員の給料も就労時間に対して低いように思える。学童保育は行政が運営して、低料金で子供達を安心して預けられる施設になれば働きたい親も増えると思う。
- ・幼稚園の夏期、冬期休み、土日の保育実施。町外の方の受け入れ（幼稚園）幼稚園の3年保育。
- ・小学校になったら一時預かりがないので、低学年のうちは一時的預かりの制度があるといい。
- ・ファミリーサポートがあると良いと思う
- ・土日保育、もしくは預かりサービスの充実。フルタイムで働きつつ子育てでも楽しみたいので、フレキシブルに子供を預ける事が出来るサービスがあったらいいなと思います。
- ・幼稚園の預かり保育の延長。長期お休みの時の預かり保育など

〔年齢に応じた子どもの遊び場や居場所づくり〕

- ・つどいの広場等は以前利用した事がありますが、他の子が我が家の子より小さく満足

に遊ばせられませんでした。ハイハイとかしていて、ぶつかったりが怖くて。幼稚園に入ると年齢的にも入れず幼児レベルの子供達が遊べる所を増やして頂けたらありがたいです。

- ・年齢別に応じた遊具のある公園が欲しいです。敷地は広いですが、もっと遊具があれば充実して遊ぶ事が出来ると思います。数年前引越してきましたが、鳩山町は子育てに関してとても熱心だと思います。人数が少ないこともあると思いますが、健診なども良く話しを聞いてくれて、こちらも安心して話せます。とても子育てしやすい町だと思いますので、少子化ですが継続して取り組んでほしいと思います。
- ・小さい子から小学高学年まで遊べる場所、企画、事業も企画も年齢制限があり、兄弟で行けない。大きい子の企画は小さい子を連れて行くと大変で小さい子の企画は大きい子には退屈であるか、年齢制限で行けない所が多い。

#### 〔少子化対策〕

- ・年々子どもの数が減っていて、小学校でも1クラスしかない学年が増えています。子どもが増える為の政策があると嬉しいです。
- ・子どもの数が少なすぎて日常生活で子どもを見かける事もなく、高齢者ばかりの中で生きているので、子どものいる世帯を鳩山に増やして欲しい。近所にはほぼ高齢者世帯ばかり、幼児あり世帯が5世帯もない。
- ・これ以上同年代の子ども達が少なくならないように住宅やお店を増やして人口を増やすようなアピールをしてほしいです。自然や人柄などとても子育てには良い環境だと思うので、子育て支援も継続してもらえれば理想的だと思います。

#### 〔経済的支援の充実〕

- ・子供医療費の適応範囲の拡大。予防接種の無料化。事務的ではない電話対応の徹底。バス料金の優遇（割引、ワンコイン化など）
- ・子供手当の金額アップ。毛呂山、越生のように三人目は保育園利用をタダにするなど。2歳くらいまで、窓口の支払いなしの利用を。子供の為に公園の増。あまり意味のないアンケートはやめて欲しい。選択するものが無いのに答えるのは大変。
- ・滑川町では給食費補助、高校生まで医療費補助という事で魅力を感じます。少子化対策としても是非ご検討頂きたいです。

#### 〔子育て支援施設・ひろばの充実〕

- ・出来れば子育て支援センターは平日は休まないでやってほしい
- ・集いの広場ぼっぼにはお世話になっています。とてもありがたい施設だと思います。欲を言えば15時までの時間を16時くらいまで延ばしてもらえとお昼寝後に連れて行けるのに...と思ったことが時々ありました。

#### 〔子育てしやすい安全な環境づくり〕

- ・町内の車のスピードに危うさを感じます。車の事故が起きないような環境整備)
- ・今宿小までの通学路の歩道の整備と安全の確保

#### 〔アンケートについて〕

- ・現在子育てに忙しくて余り時間が取れずにこのアンケートはかなりの負担でした。何か他の方法はなかったのでしょうか？